

都民のスポーツ活動に関する実態調査〈概要〉

令和6年3月

調査実施の概要

1 調査目的

都民のスポーツ活動を把握することにより、今後の東京都におけるスポーツ振興のための目標設定や施策の検討に活用することを目的とする。

2 調査項目

- (1) スポーツ活動全般
- (2) するスポーツ
- (3) みるスポーツ
- (4) 支えるスポーツ
- (5) パラスポーツ（障害者スポーツ）への関心度等

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送送付・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
- (5) 調査期間：令和5年10月1日～10月31日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）1,524標本（38.1%）〔うち郵送900標本、インターネット624標本〕
- (2) 未完了標本数（率）2,476標本（61.9%）

東京都生活文化スポーツ局

調査結果の概要

※ n は質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す

※ 個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある

※ M. A. はいくつでも選択

※ M. T. は回答の合計を n で割った比率

1 スポーツ活動全般

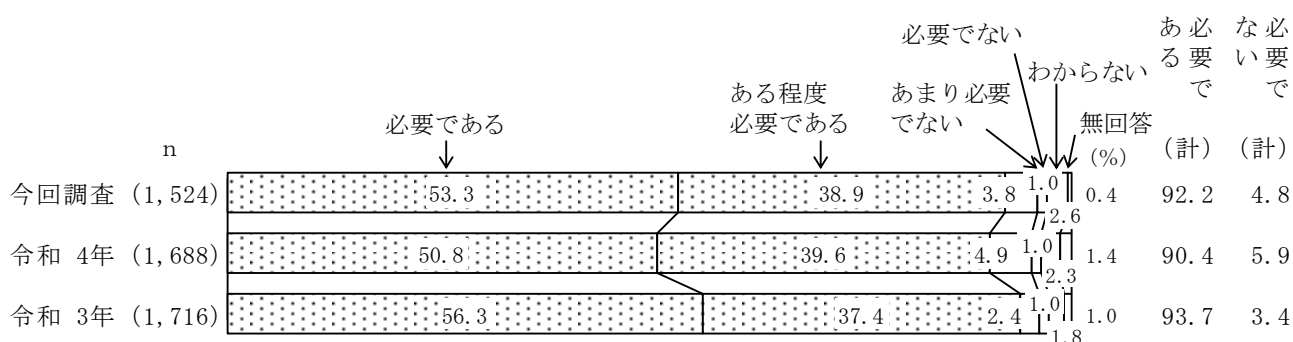
(1) スポーツに対する意識：

スポーツ活動全般（実施だけでなく、観戦、支援、スポーツイベントの開催を含む）についてどの程度必要だと思うか聞いた。

（本文 P3～P8）

・『必要である（計）』は 92%（令和 4 年より 2 ポイント増加）

・『必要でない（計）』は 5%（令和 4 年より 1 ポイント減少）



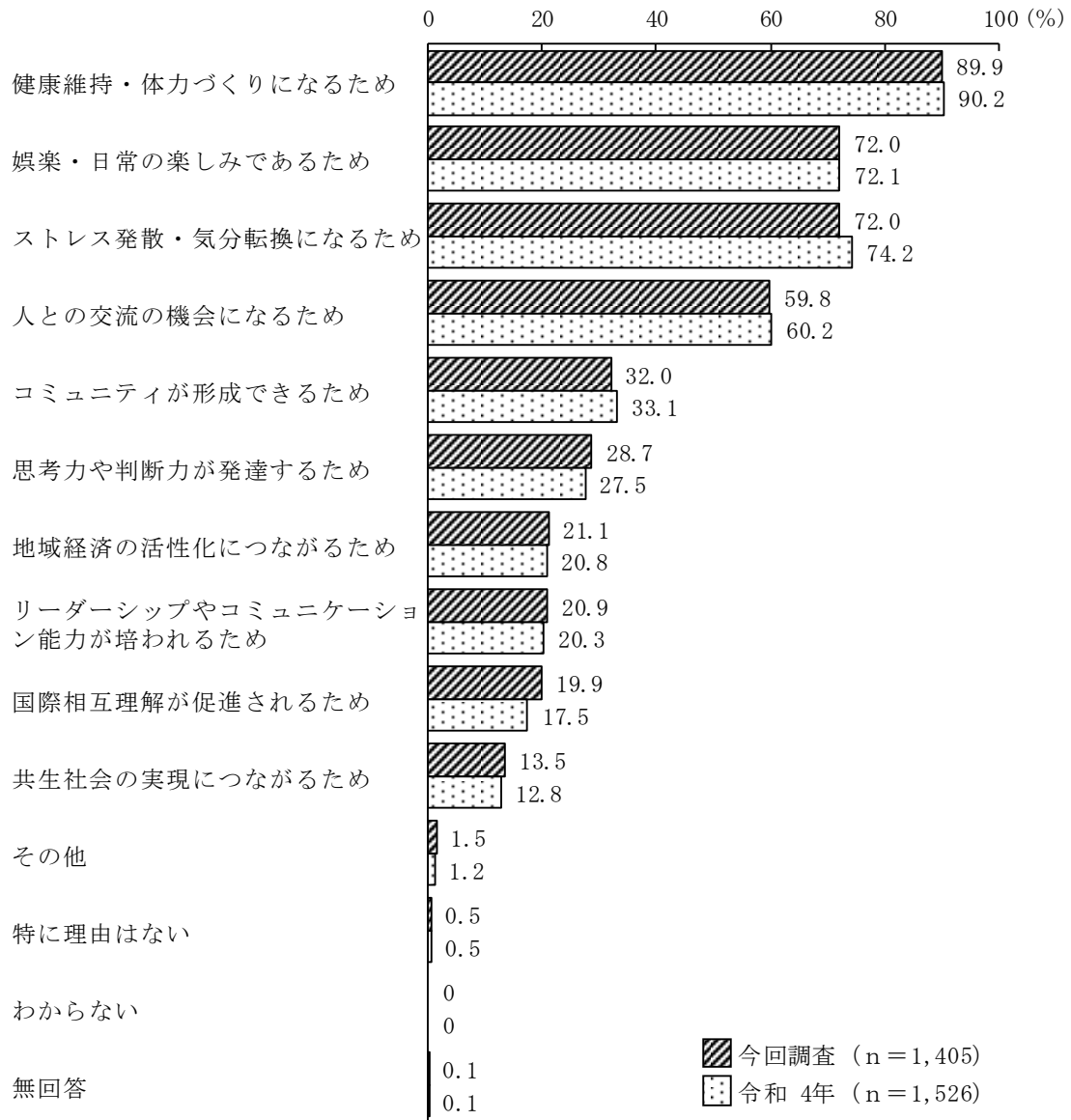
(注) 『必要である（計）』は「必要である」「ある程度必要である」の合計

『必要でない（計）』は「必要でない」「あまり必要でない」の合計

(2) スポーツが必要と考える理由：

スポーツ活動全般が必要であると答えた人（1,405人）に、必要と考える理由を聞いた。（M. A.）
 （本文P9～P11）

- ・「健康維持・体力づくりになるため」が90%でトップ（令和4年とほぼ同様）
- ・「娯楽・日常の楽しみであるため」72%、「ストレス発散・気分転換になるため」72%が続く

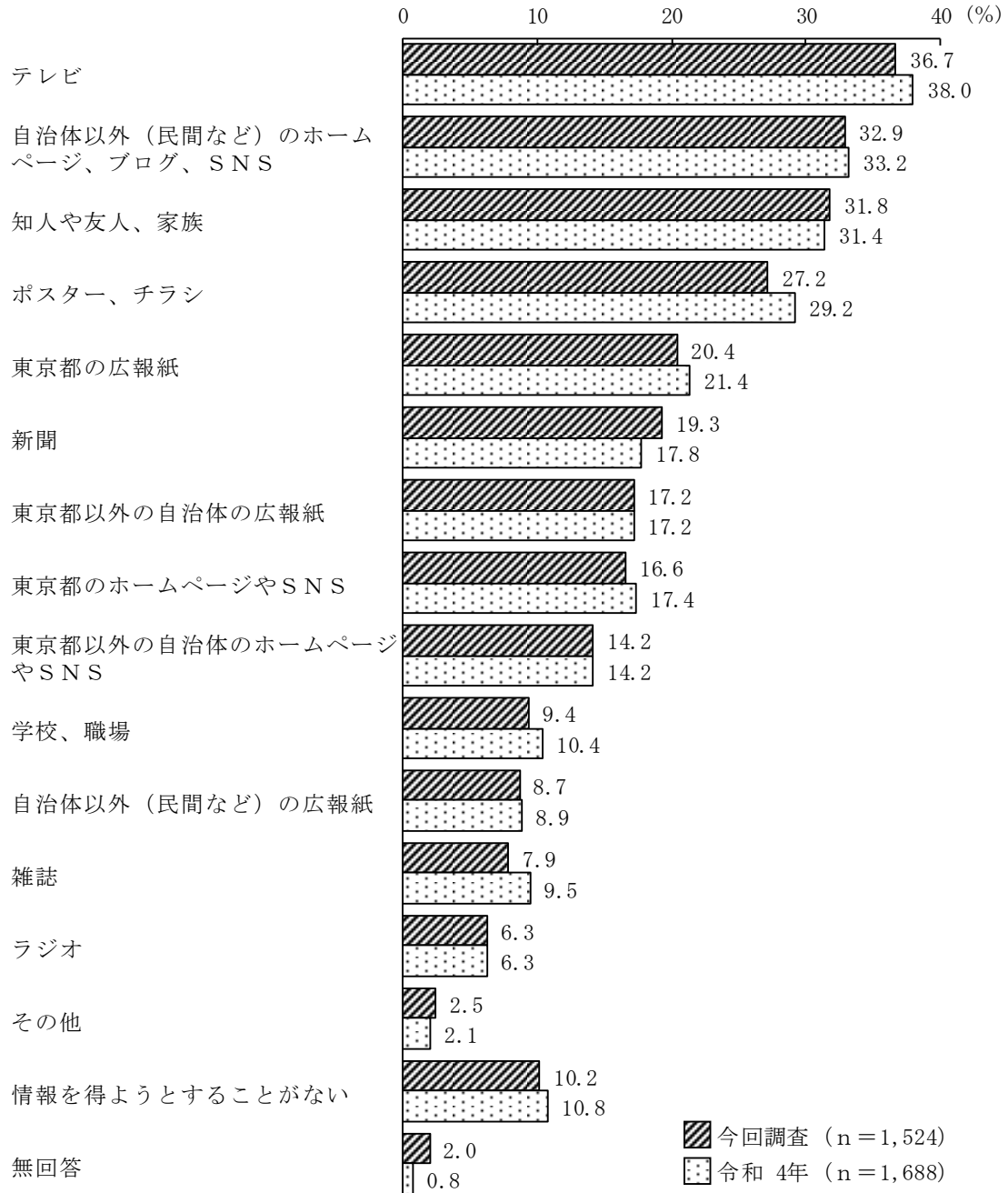


(3) スポーツ情報の入手先：

スポーツの情報を得る場合、その情報をどこから得るか聞いた。(M. A.)

(本文P12～P15)

- ・「テレビ」が37%でトップ（令和4年より1ポイント減少）
- ・「自治体以外（民間など）のホームページ、ブログ、SNS」33%、「知人や友人、家族」32%が続く



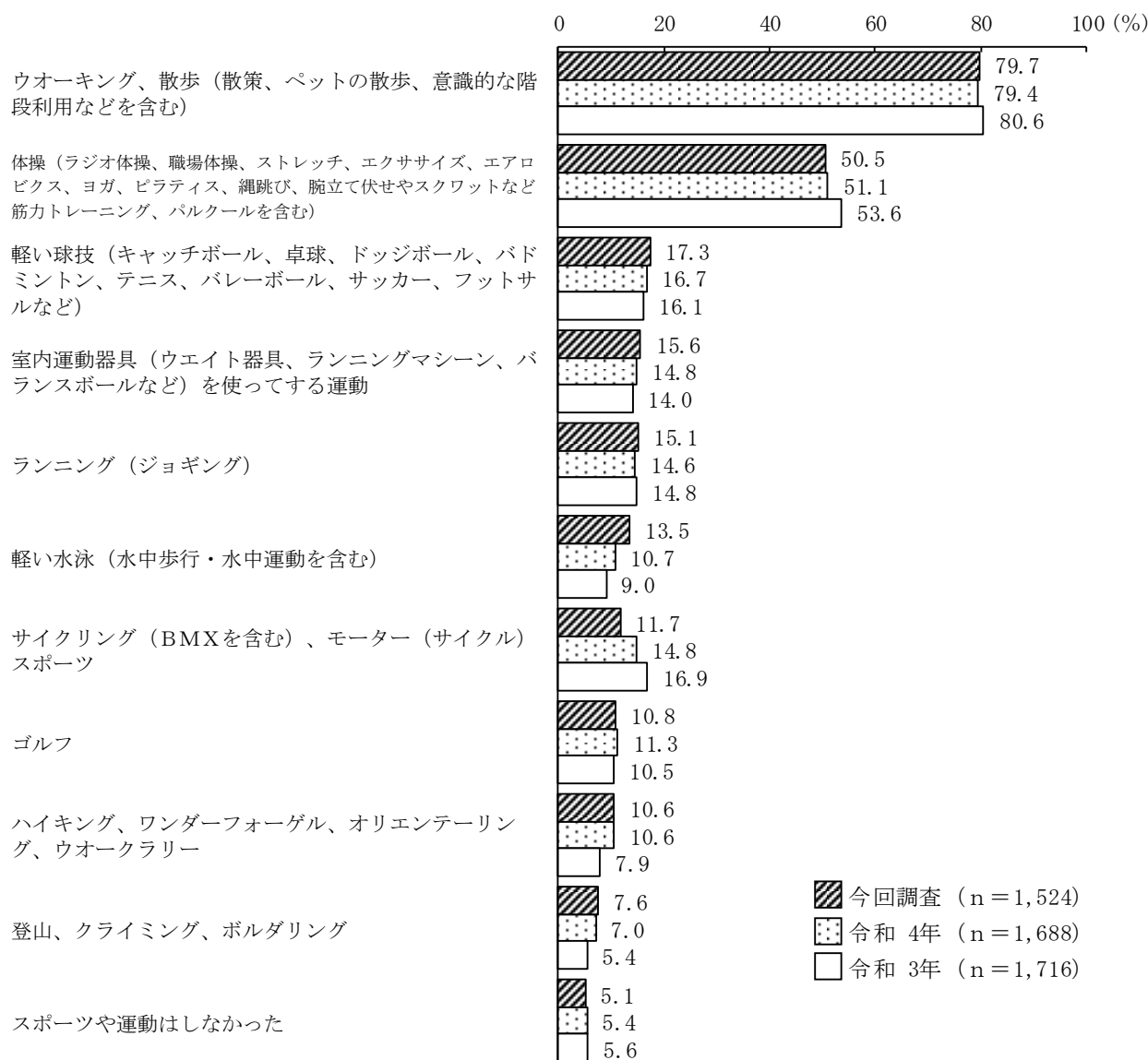
2 するスポーツ

(1) スポーツ・運動の1年間の実施状況：

この1年間に実施したスポーツや運動の種目を聞いた。(M. A.)

(本文 P 16～ P 23)

- ・「ウォーキング、散歩」が80%でトップ（令和4年とほぼ同様）
- ・「体操」51%、「軽い球技」17%が続く
- ・「スポーツや運動はしなかった」は5%（令和4年とほぼ同様）



(注1) 「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニング、パルクールを含む）」は令和4年までは「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む）」

(注2) 「軽い球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボール、サッカー、フットサルなど）」は令和3年までは「軽い球技（キャッチボール、卓球、ドッジボール、バドミントン、テニス、バレーボール、サッカー、フットサル、ボッチャなど）」

(注3) 「サイクリング（BMXを含む）、モーター（サイクル）スポーツ」は令和4年までは「サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ」

(注4) 「登山、クライミング、ボルダリング」は令和3年までは「登山（クライミング）」

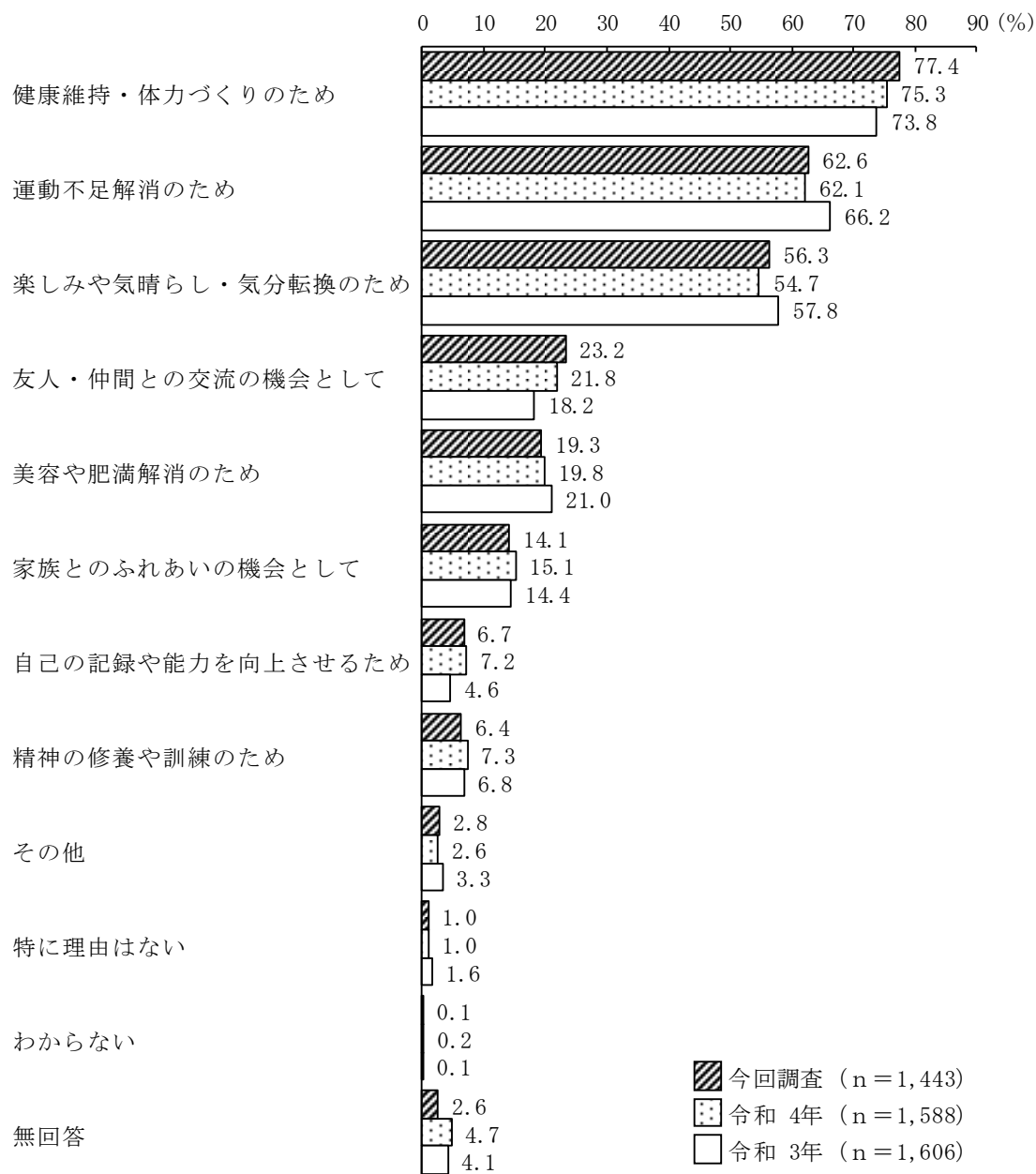
(2) スポーツ・運動を実施した理由：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,443人）に、実施した理由を聞いた。

(M. A.)

(本文P24～P26)

- ・「健康維持・体力づくりのため」が77%でトップ（令和4年より2ポイント増加）
- ・「運動不足解消のため」63%、「楽しみや気晴らし・気分転換のため」56%が続く



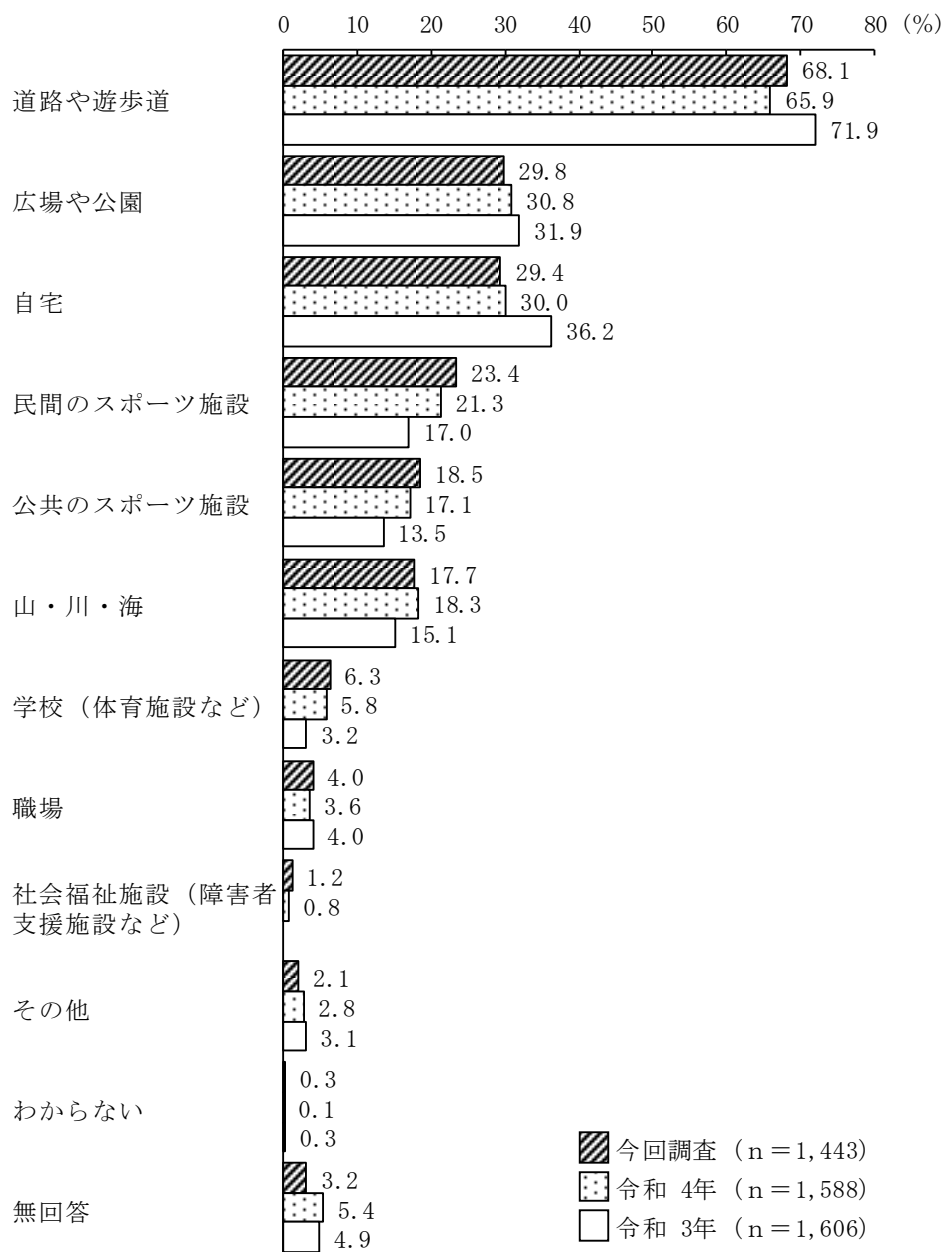
(3) スポーツ・運動を実施した場所：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,443人）に、実施した場所を聞いた。

(M. A.)

(本文P27～P29)

- ・「道路や遊歩道」が68%でトップ（令和4年より2ポイント増加）
- ・「広場や公園」30%、「自宅」29%が続く



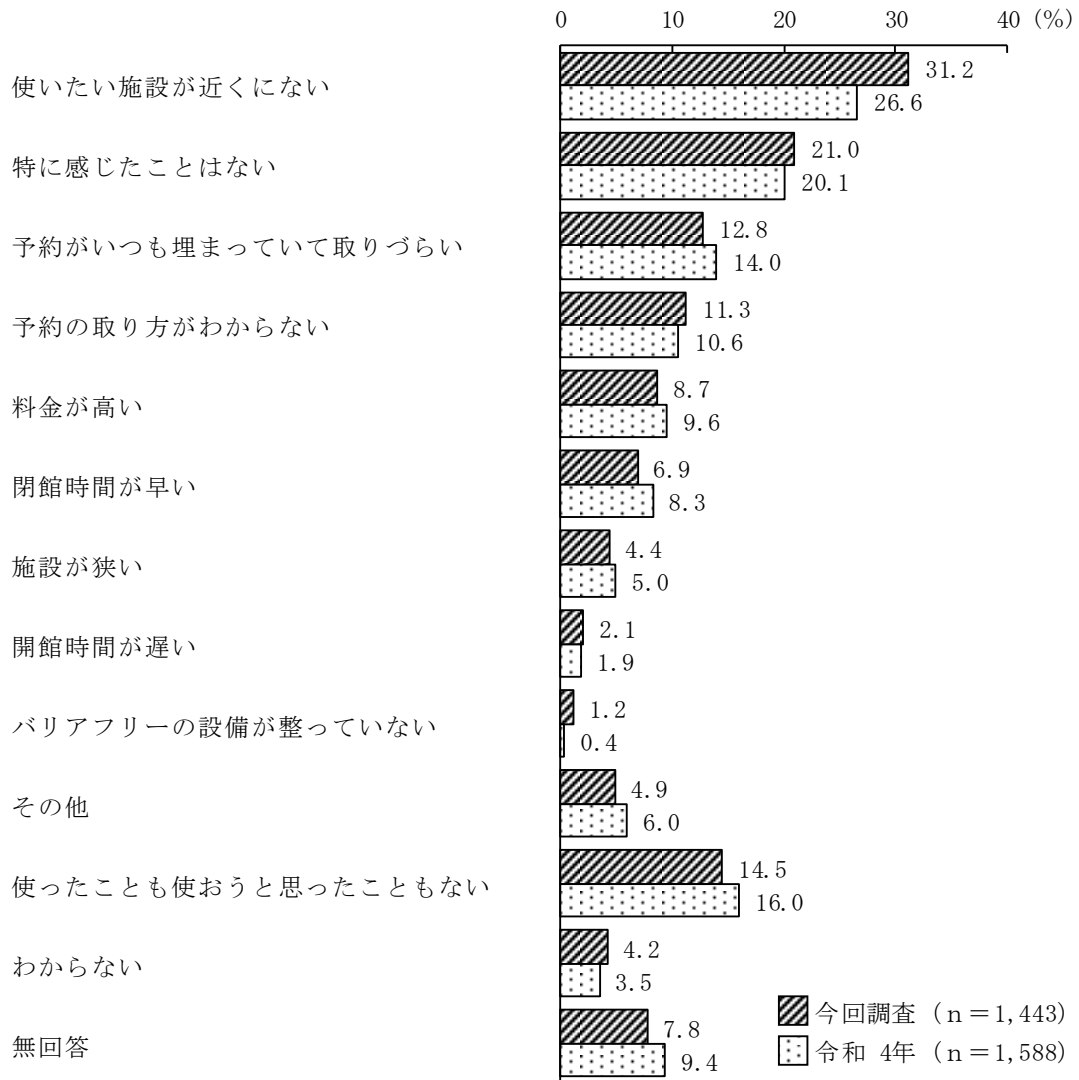
(注)「社会福祉施設（障害者支援施設など）」は令和4年調査から追加

(4) 公共のスポーツ施設の利用で感じたこと：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人(1,443人)に、公共のスポーツ施設について、利用したときや利用しようと思ったときに感じたことを聞いた。(M. A.)

(本文 P30～P34)

- ・「使いたい施設が近くにない」が31%でトップ（令和4年より5ポイント増加）
- ・「特に感じたことはない」21%、「予約がいつも埋まっていて取りづらい」13%が続く



(5) スポーツ・運動を実施した日数：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人(1,443人)に、スポーツ・運動を実施した日数を聞いた。

(本文P35～P39)

- ・「週3日以上(年151日以上)」が33%でトップ(令和4年より3ポイント増加)
- ・「週に2日(年101日～150日)」19%、「週に1日(年51日～100日)」18%が続く

n	実施した日数						無回答
	週3日以上 (年151日以上)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3ヶ月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	
今回調査 (1,443)	32.6	19.0	18.4	14.3	5.8	3.4	3.3
令和4年 (1,588)	29.4	20.7	19.9	13.8	5.1	2.3	5.4
令和3年 (1,606)	35.7	20.5	17.4	15.0	3.6	1.4	4.5

[スポーツ・運動の実施頻度]

スポーツ・運動の1年間の実施状況とスポーツ・運動を実施した日数のそれぞれの回答から、スポーツ・運動の実施頻度を分類した。

(本文P40～P43)

- ・『週に1日以上実施(計)』は66%(令和4年とほぼ同様)
- ・『週に1日未満実施(計)』は22%(令和4年より2ポイント増加)
- ・「スポーツや運動はしなかった」は5%(令和4年とほぼ同様)

n	実施した頻度		実施しなかった		無回答
	週に1日以上実施	週に1日未満実施	実施したが頻度はわからない	スポーツや運動はしなかった	
今回調査 (1,524)	66.3	22.2	3.1	5.1	3.3
令和4年 (1,688)	65.9	19.9	3.2	5.4	5.6
令和3年 (1,716)	68.9	18.7	1.7	5.6	5.0

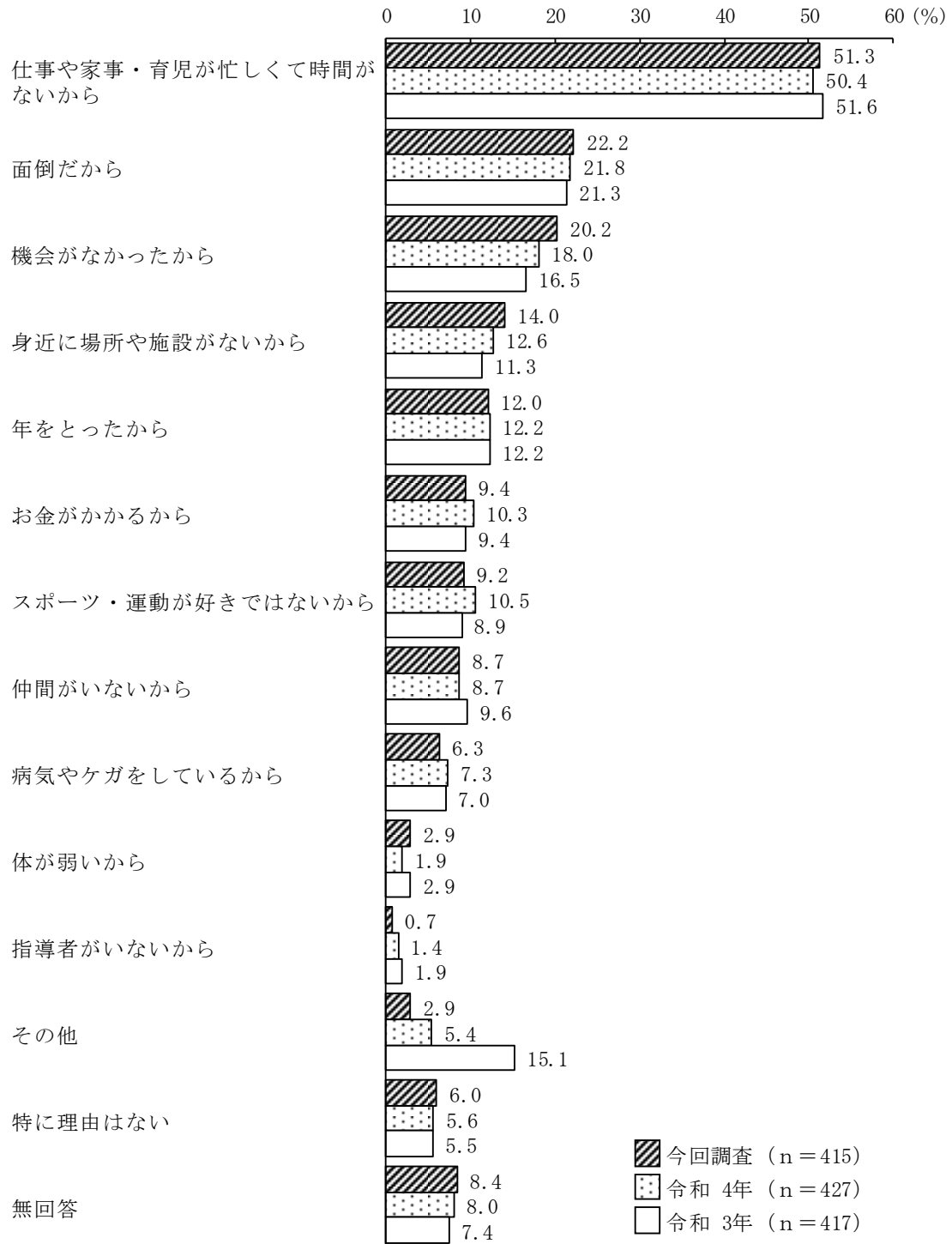
(注)『週に1日以上実施』は「週3日以上」「週に2日」「週に1日」の合計
『週に1日未満実施』は「月に1～3日」「3ヶ月に1～2日」「年に1～3日」の合計

(6) スポーツ・運動を実施した頻度が週1日に満たなかった理由：

この1年間に「スポーツや運動はしなかった」または、「週に1日未満」と答えた人(415人)に、その理由を聞いた。(M. A.)

(本文P44～P46)

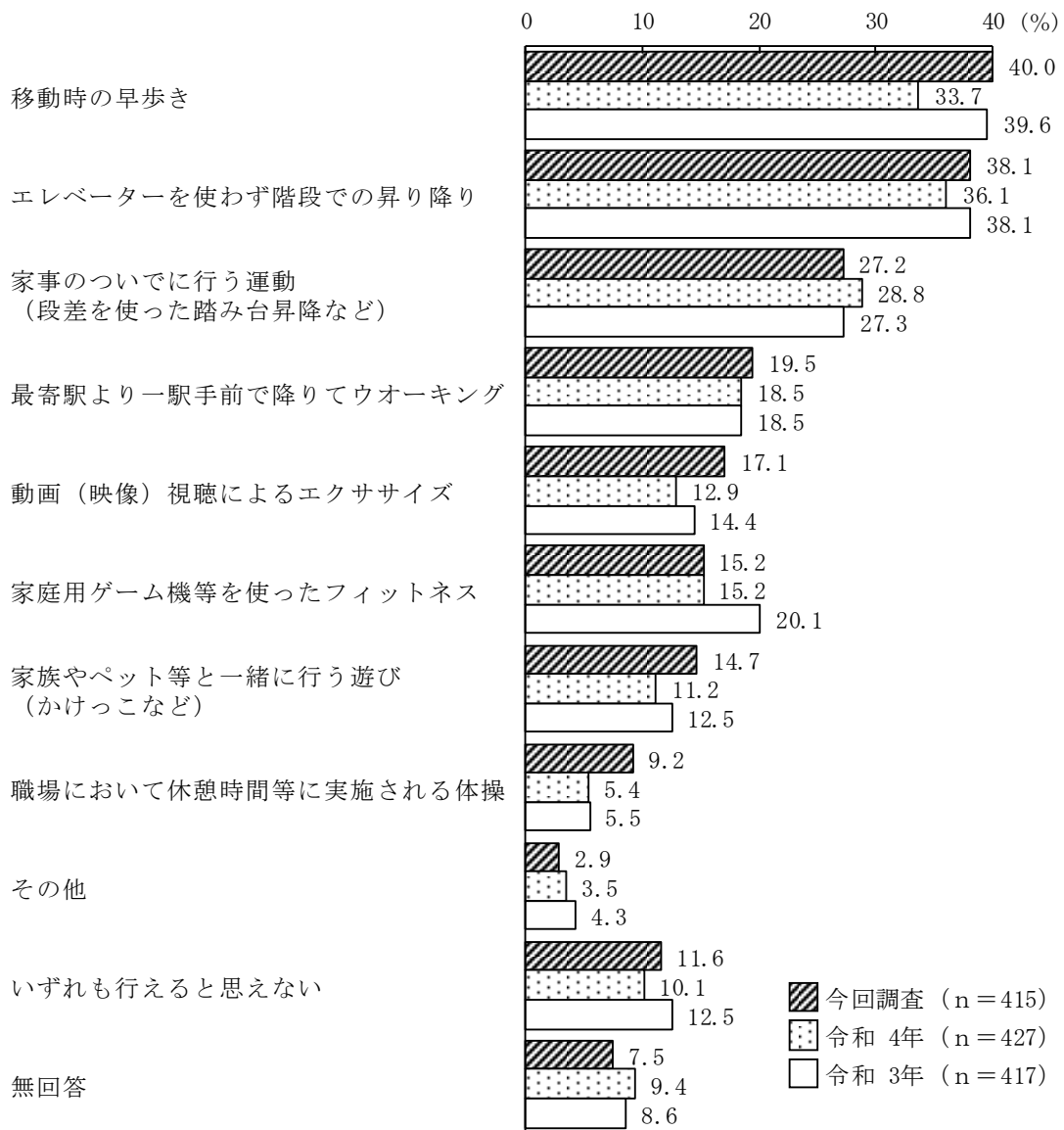
- ・「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」が51%でトップ(令和4年より1ポイント増加)
- ・「面倒だから」22%、「機会がなかったから」20%が続く



(7) スポーツ・運動をより頻繁に行える可能性：

この1年間に「スポーツや運動はしなかった」または、「週に1日未満」と答えた人(415人)に、今後どのようなスポーツ・運動であれば(より頻繁に)行える可能性があるか聞いた。(M. A.)
(本文P47～P49)

- ・「移動時の早歩き」が40%でトップ(令和4年より6ポイント増加)
- ・「エレベーターを使わず階段での昇り降り」38%、「家事的ついでに行う運動(段差を使った踏み台昇降など)」27%が続く



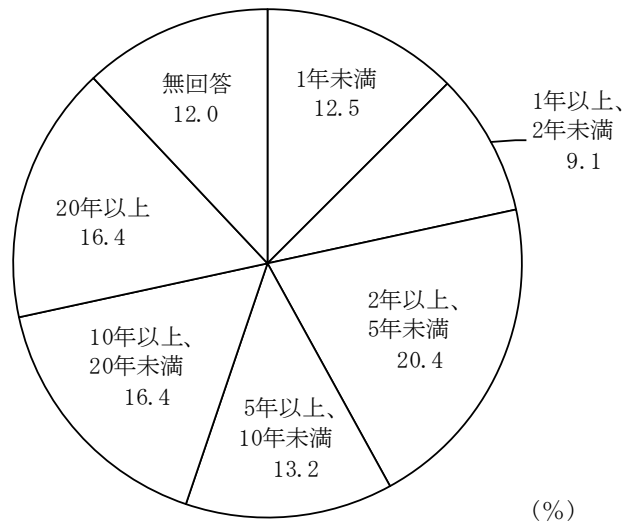
(8) スポーツ・運動を続けた期間：

この1年間にスポーツや運動を週に1日以上実施した、もしくは「わからない」と答えた人(1,058人)に、どの程度の期間続けているか聞いた。

(本文P50～P54)

- ・「2年以上、5年未満」が20%でトップ
- ・「10年以上、20年未満」と「20年以上」16%が続く

(n = 1,058)

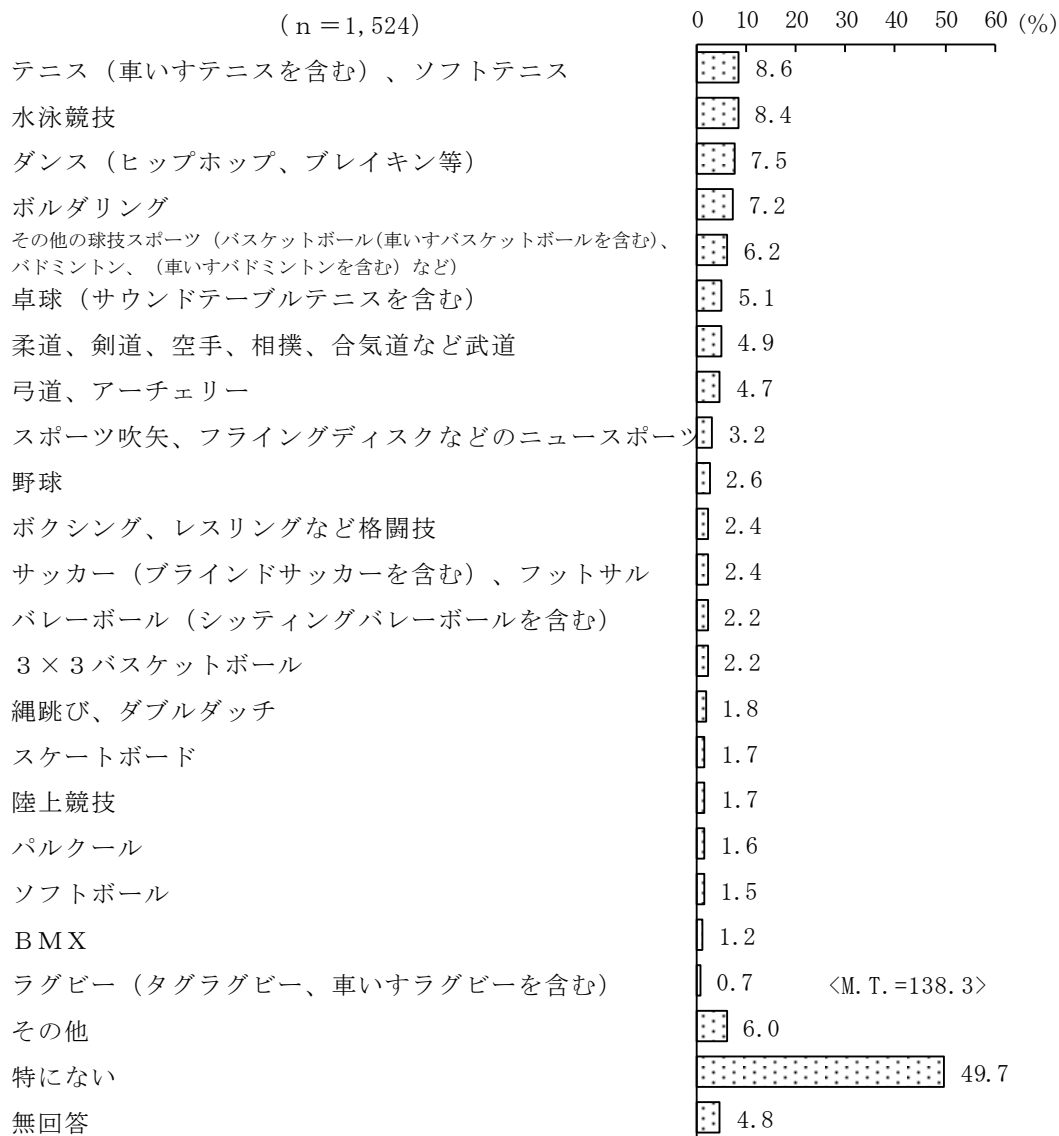


(9) あらたに取り組んでみたいスポーツ・運動：

今後あらたに取り組んでみたいスポーツや運動を聞いた。(M. A.)

(本文 P 55～ P 56)

- ・「テニス（車いすテニスを含む）、ソフトテニス」が9%でトップ
- ・「水泳競技」と「ダンス（ヒップホップ、ブレイキン等）」8%が続く

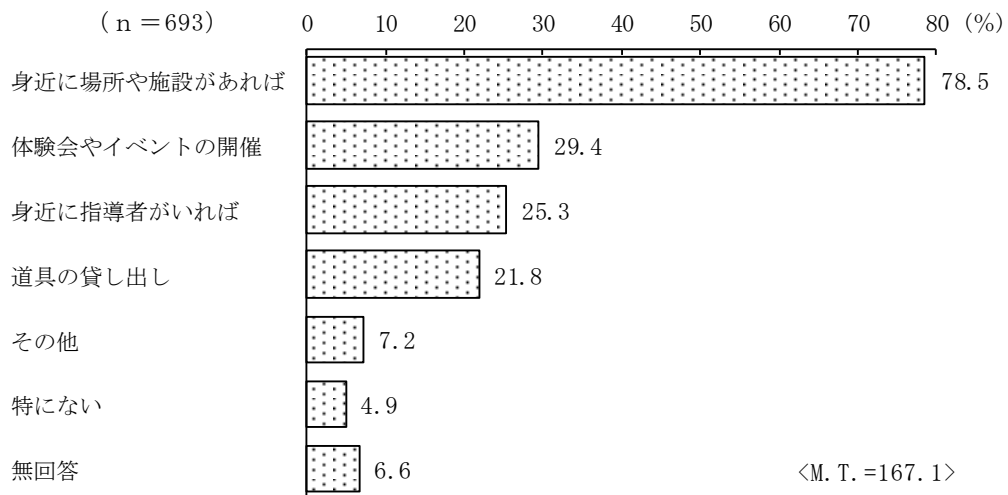


(10) 取り組みやすくなる環境：

今後あらたに取り組んでみたいスポーツや運動があると答えた人（693人）に、どのような環境を整えば、取り組みやすくなると思うか聞いた。（M. A.）

（本文P57～P59）

- ・「身近に場所や施設があれば」が79%でトップ
- ・「体験会やイベントの開催」29%、「身近に指導者がいれば」25%が続く

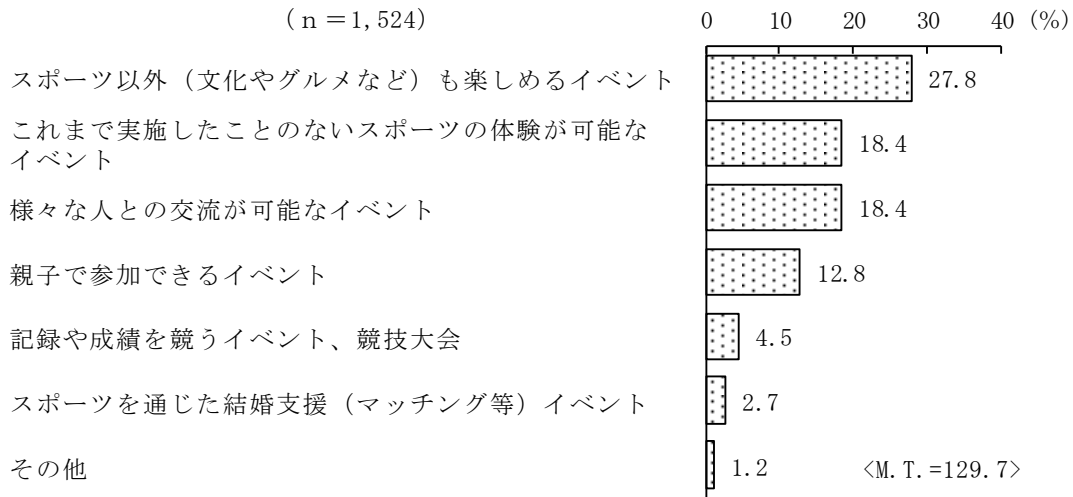


(11) 今後のスポーツイベント、大会への参加意向：

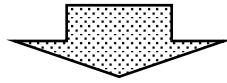
今後、どのようなスポーツイベント、大会に参加したいと思うか聞いた。(M. A.)

(本文P60～P63)

- ・「スポーツ以外（文化やグルメなど）も楽しめるイベント」が28%でトップ
- ・「これまで実施したことのないスポーツの体験が可能なイベント」と「様々な人との交流が可能なイベント」18%が続く

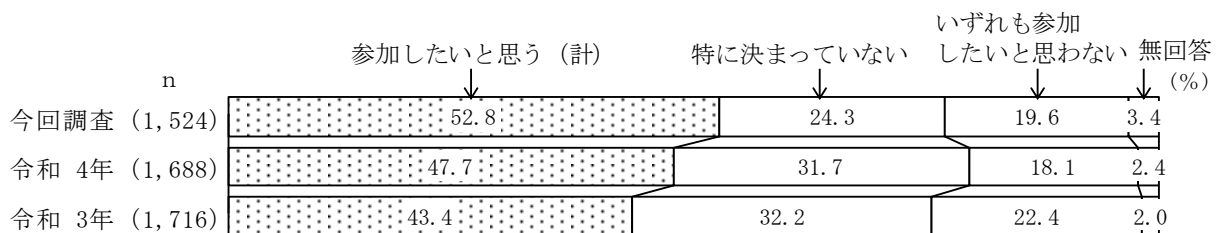


〔上記選択肢を答えた人を『参加したいと思う（計）』とし、「特に決まっていない」、「いずれも参加したいと思わない」と答えた人との比率をみると以下の通り。〕



[今後のスポーツイベント、大会への参加意向の有無]

- ・『参加したいと思う（計）』は53%（令和4年より5ポイント増加）
- ・「いずれも参加したいと思わない」は20%（令和4年より2ポイント増加）



(注)『参加したいと思う（計）』は「特に決まっていない」「いずれも参加したいと思わない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(12) 参加した・知っていた・聞いたことがある大会：

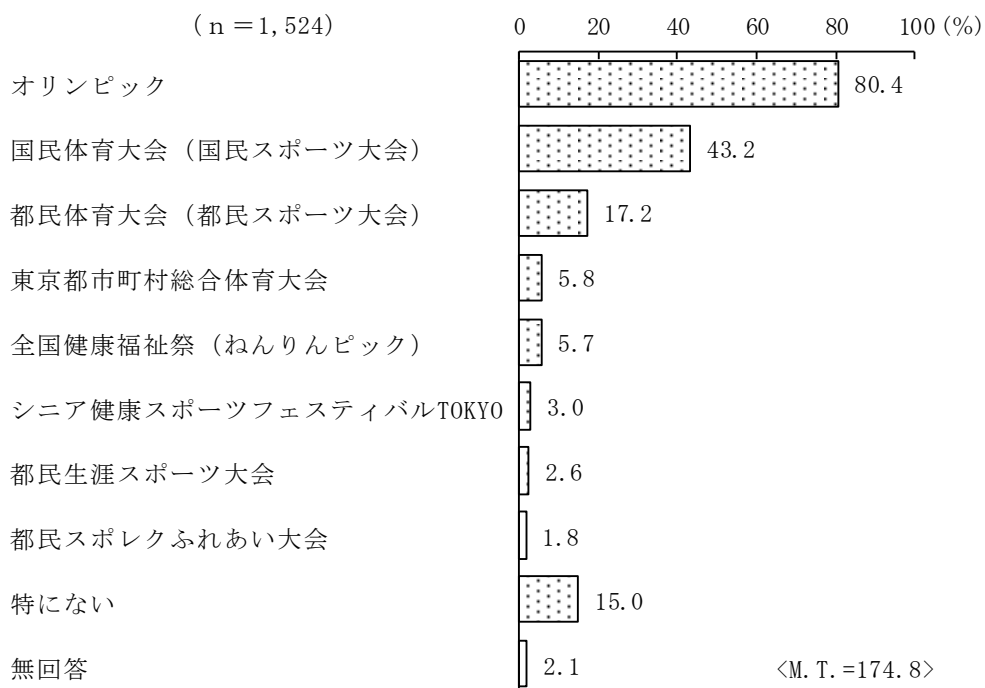
この中に、参加したことがある、または知っていた、聞いたことがある大会はあるか聞いた。

(M. A.)

(本文 P64～P65)

・「オリンピック」が80%でトップ

・「国民体育大会（国民スポーツ大会）」43%、「都民体育大会（都民スポーツ大会）」17%が続く



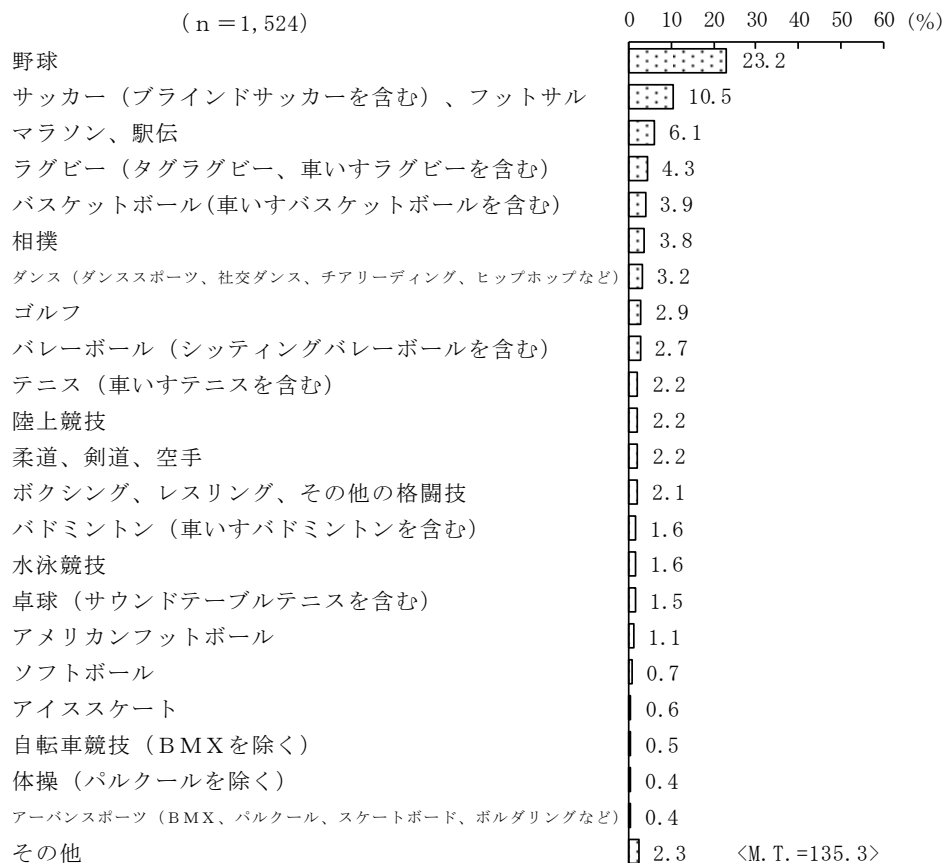
3 みるスポーツ

(1) この1年間に実際に観戦したスポーツ：

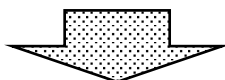
この1年間にスタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦したスポーツの種目を聞いた。(M. A.)
(本文 P 66～P 70)

・「野球」が23%でトップ

・「サッカー（ブラインドサッカーを含む）、フットサル」11%、「マラソン、駅伝」6%が続く



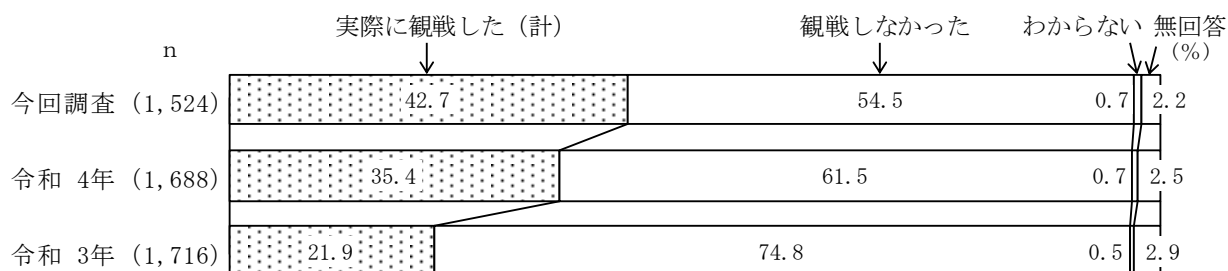
〔 上記選択肢を答えた人を『実際に観戦した（計）』とし、
「観戦しなかった」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



[この1年間のスポーツ観戦の有無]

・『実際に観戦した（計）』は43%（令和4年より7ポイント増加）

・「観戦しなかった」は55%（令和4年より7ポイント減少）



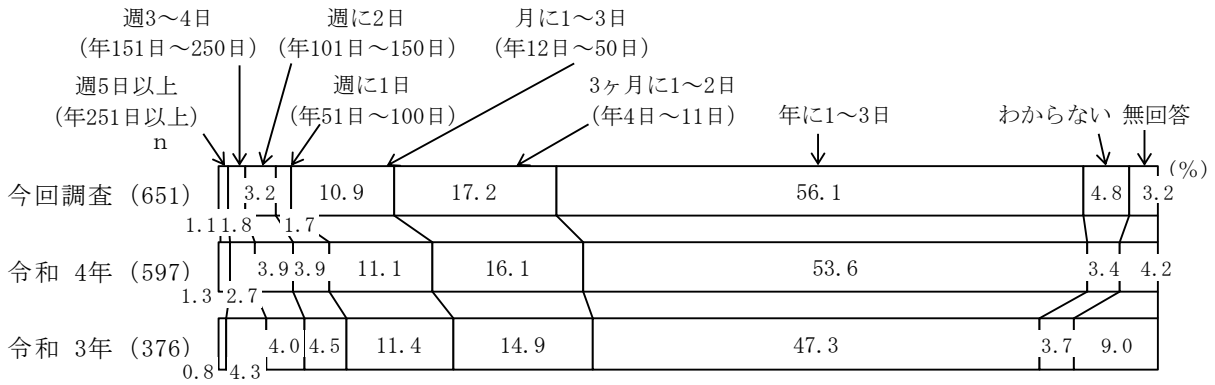
(注) 『実際に観戦した（計）』は「観戦しなかった」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(2) 実際にスポーツを観戦した日数：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（651人）に、スポーツを観戦した日数を聞いた。

（本文P71～P74）

- ・「年に1～3日」が56%でトップ（令和4年より3ポイント増加）
- ・「3ヶ月に1～2日（年4日～11日）」17%、「月に1～3日（年12日～50日）」11%が続く

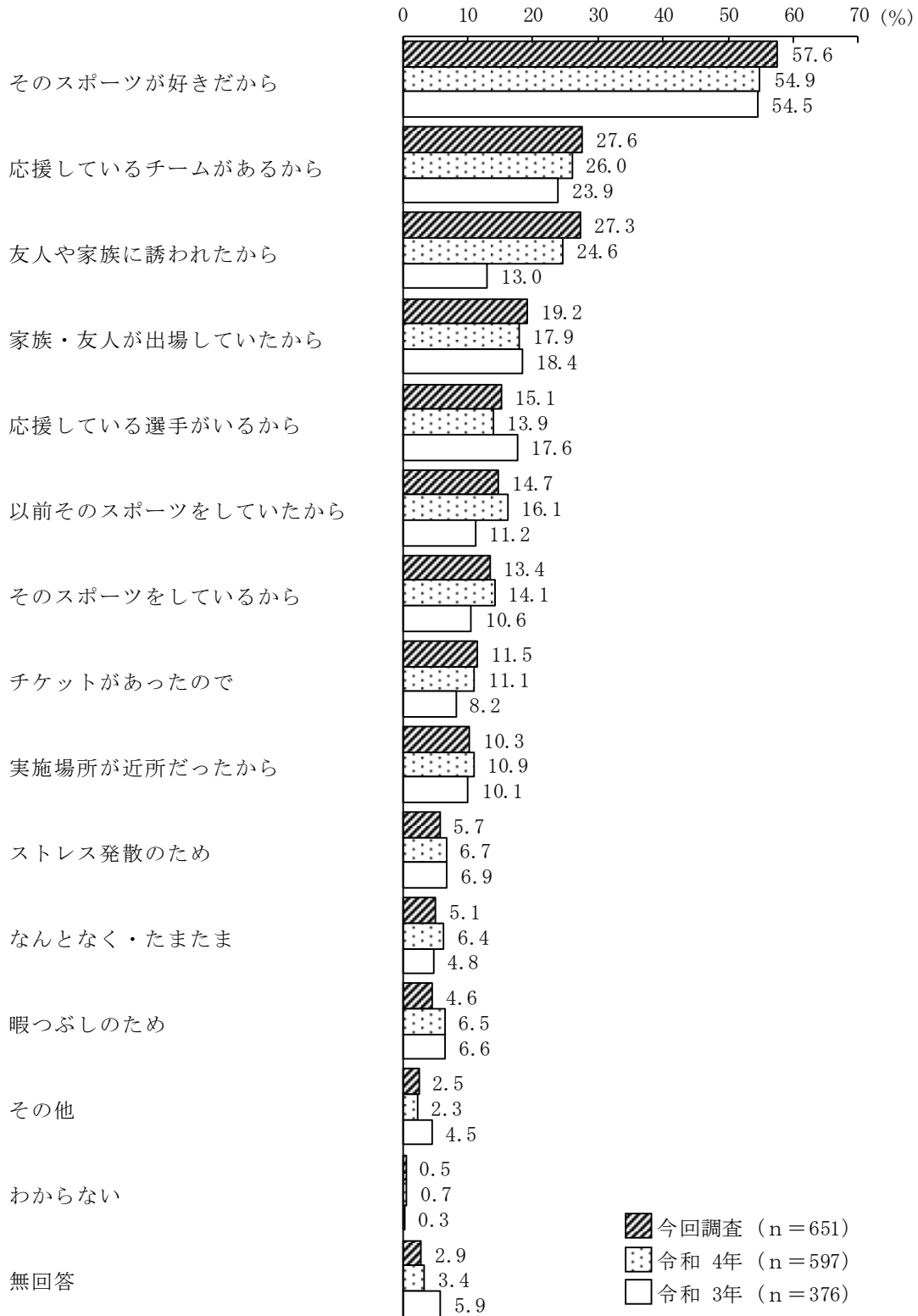


(3) スポーツを観戦した理由：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（651人）に、観戦した理由を聞いた。（M. A.）

（本文P75～P77）

- ・「そのスポーツが好きだから」が58%でトップ（令和4年より3ポイント増加）
- ・「応援しているチームがあるから」28%、「友人や家族に誘われたから」27%が続く

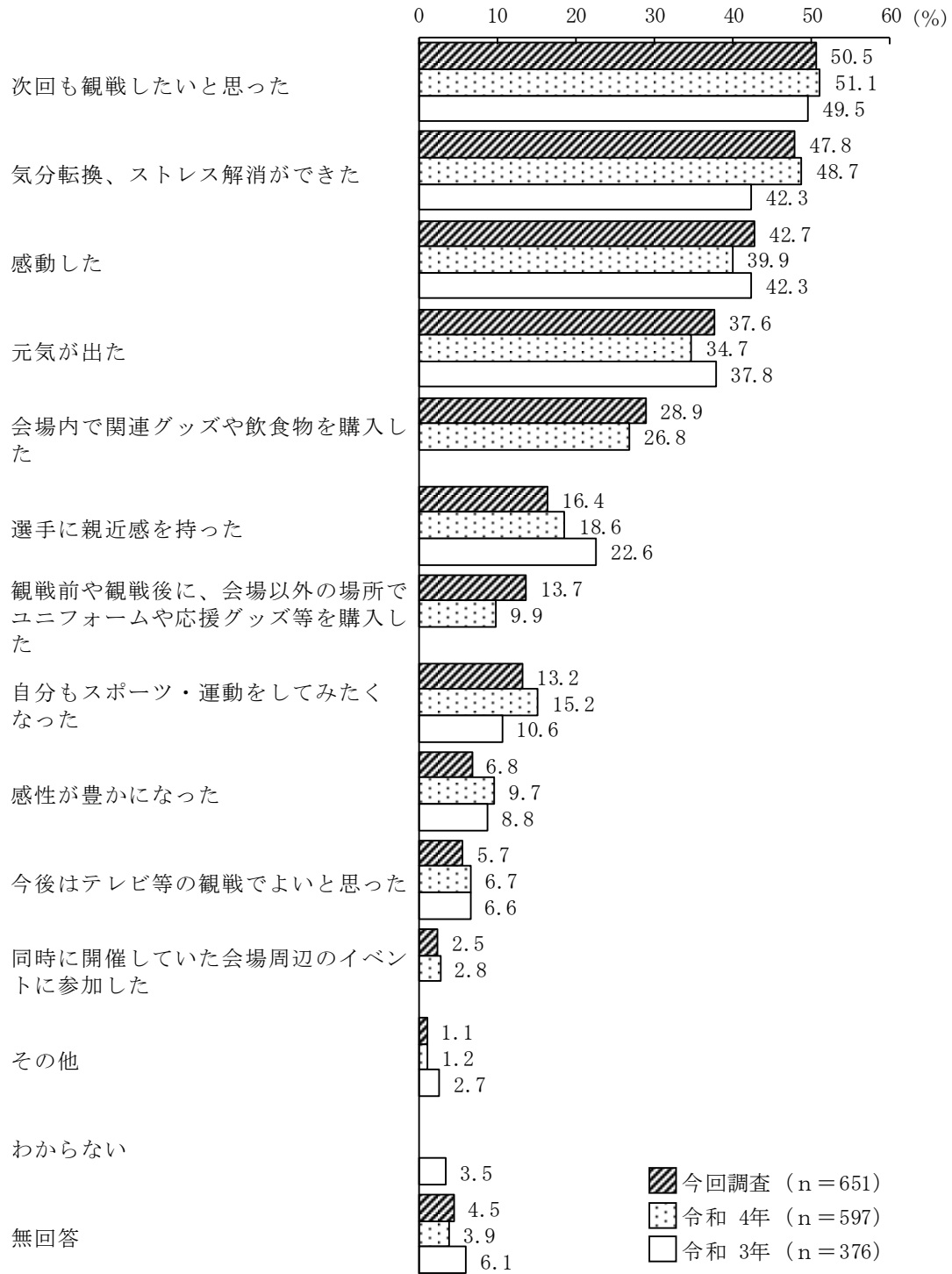


(4) スポーツを実際に観戦して感じたことや行ったこと：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（651人）に、実際に観戦して感じたことや行ったことを聞いた。（M. A.）

（本文P78～P80）

- ・「次回も観戦したいと思った」が51%でトップ（令和4年より1ポイント減少）
- ・「気分転換、ストレス解消ができた」48%、「感動した」43%が続く



(注1) 令和3年までの質問文は「あなたは、スポーツを実際に観戦して、テレビ等観戦と比較してどのようなことを強く感じましたか。」

(注2) 「会場内で関連グッズや飲食物を購入した」「観戦前や観戦後に、会場以外の場所でユニフォームや応援グッズ等を購入した」「同時に開催していた会場周辺のイベントに参加した」は令和4年調査から追加

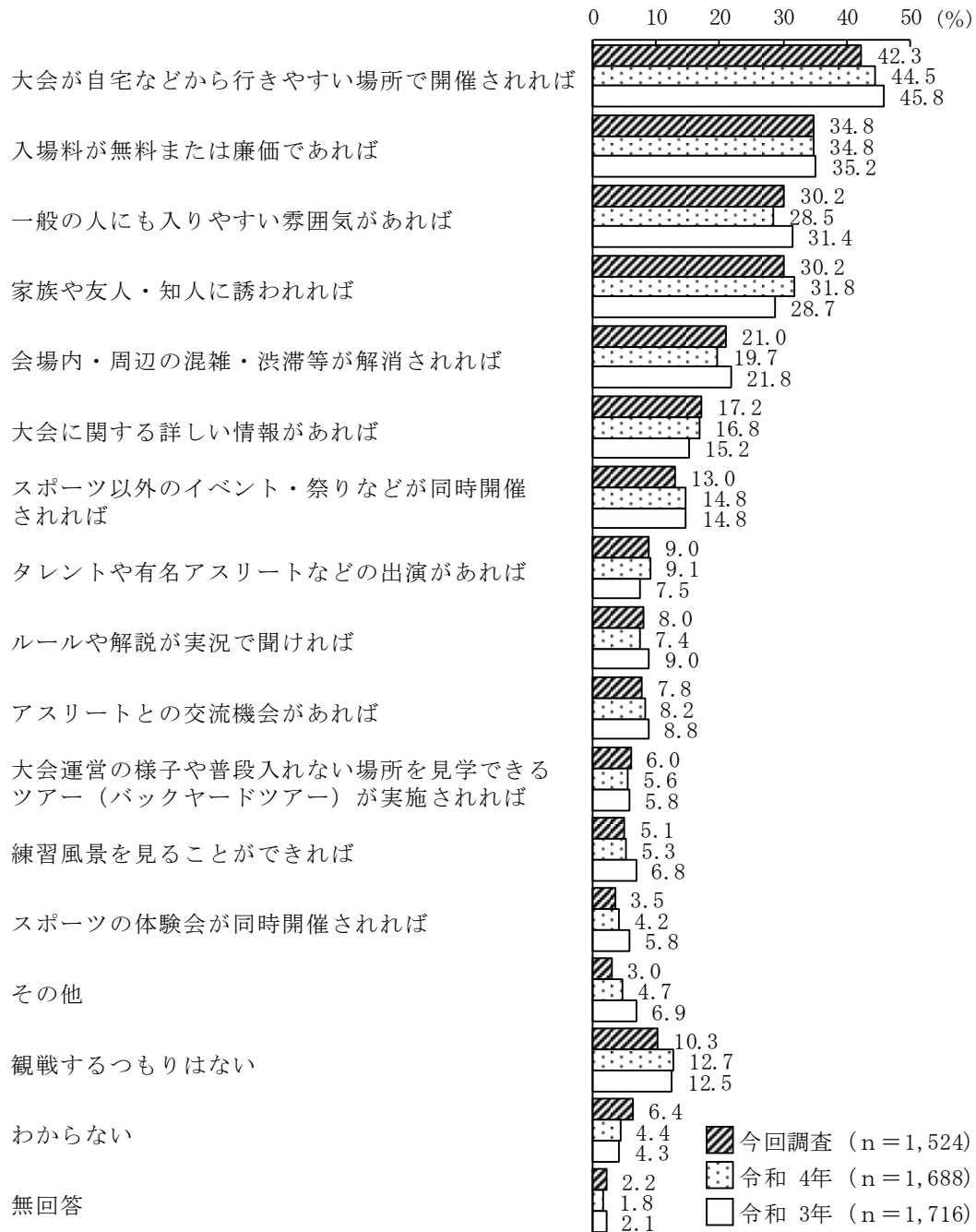
(5) スポーツを実際に観戦してみようと思う取組・工夫：

どのような取組・工夫があればスポーツを実際に（さらに）観戦してみようと思うか聞いた。

(M. A.)

(本文 P81～P83)

- ・「大会が自宅などから行きやすい場所で開催されれば」が42%でトップ（令和4年より2ポイント減少）
- ・「入場料が無料または廉価であれば」35%、「一般の人にも入りやすい雰囲気があれば」と「家族や友人・知人に誘われれば」30%が続く



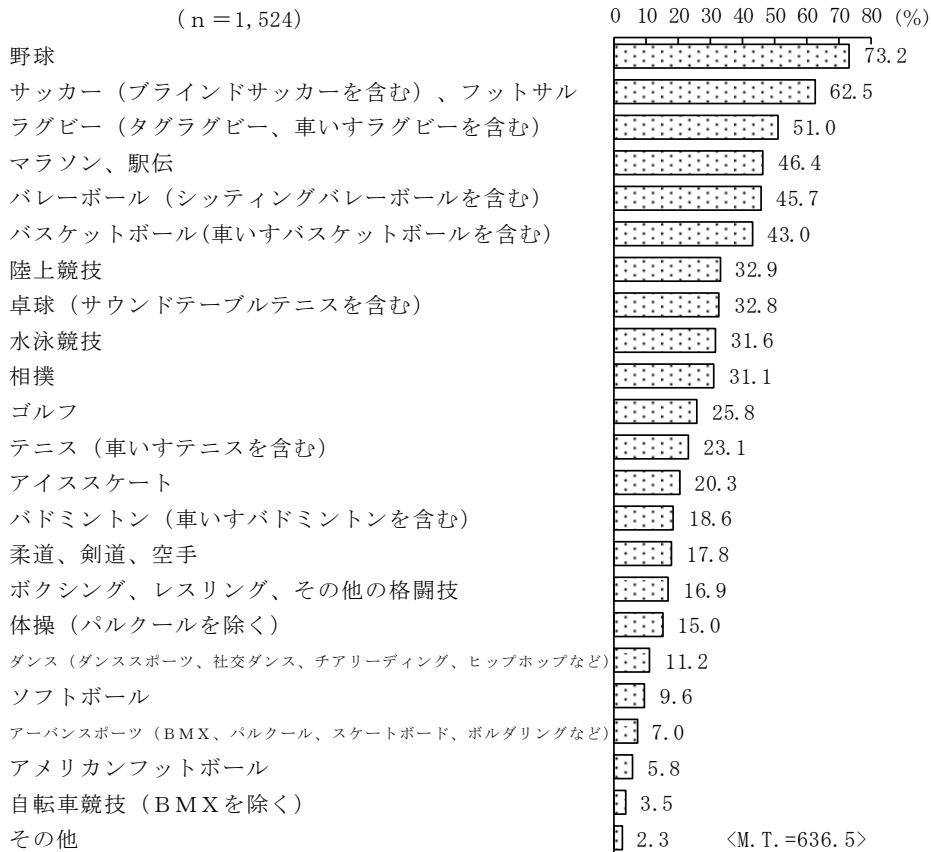
(6) この1年間にテレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したスポーツ：

この1年間にテレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したスポーツの種目を聞いた。

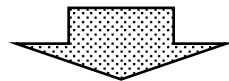
(M. A.)

(本文P84～P87)

- ・「野球」が73%でトップ
- ・「サッカー（ブラインドサッカーを含む）、フットサル」63%、「ラグビー（タグラグビー、車いすラグビーを含む）」51%が続く

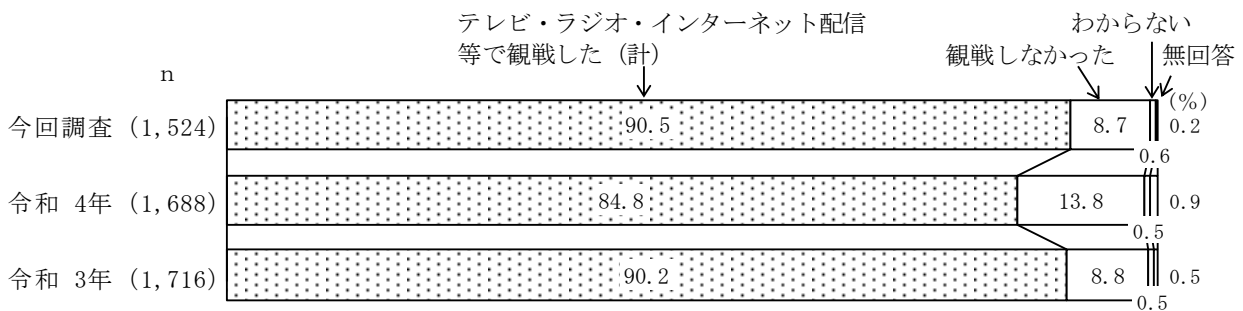


〔上記選択肢を答えた人を『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した（計）』とし、「観戦しなかった」と答えた人との比率をみると以下の通り。〕



[この1年間のテレビ・ラジオ・インターネット配信等での観戦の有無]

- ・『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した（計）』は91%（令和4年より6ポイント増加）
- ・「観戦しなかった」は9%（令和4年より5ポイント減少）



(注) 『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した（計）』は「観戦しなかった」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(7) テレビ・ラジオ・インターネット配信等でスポーツを観戦した日数：

テレビ・ラジオ・インターネット配信等でスポーツを観戦したことがあると答えた人（1,379人）に、スポーツを観戦した日数を聞いた。

（本文P88～P89）

- ・「月に1～3日（年12日～50日）」が22%でトップ（令和4年とほぼ同様）
- ・「週に2日（年101日～150日）」16%、「週に1日（年51日～100日）」13%が続く

n	週5日以上 (年251日以上)		週3～4日 (年151日～250日)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3ヶ月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	わからない	無回答 (%)
	今回調査 (1,379)	5.7	11.6	15.6	12.5	22.0	12.1	11.8	6.4	2.3
令和4年 (1,431)	5.1	11.3	12.6	13.2	22.4	13.7	12.6	6.1	2.9	
令和3年 (1,548)	6.3	12.1	13.7	14.0	19.8	10.4	11.3	7.5	4.9	

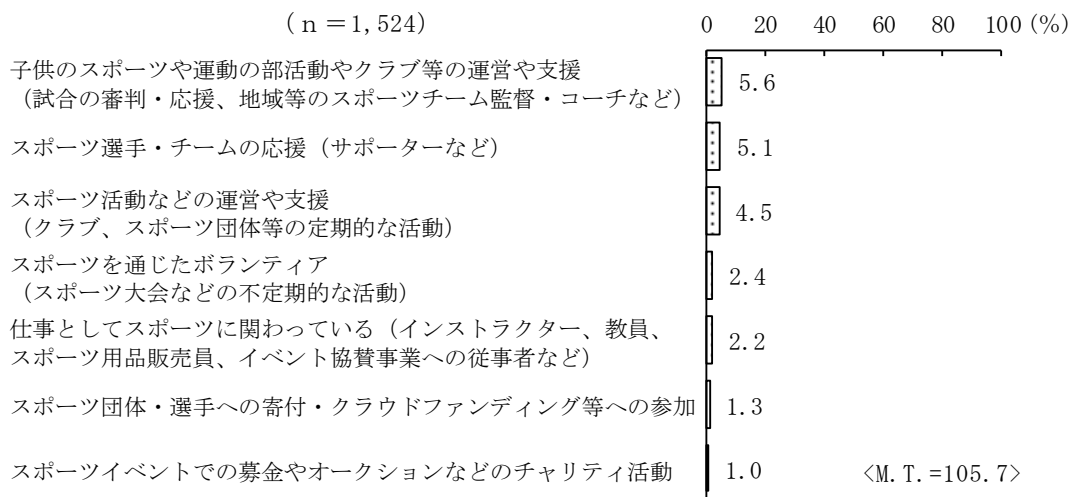
4 支えるスポーツ

(1) この1年間に関わったスポーツを支える活動：

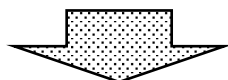
この1年間に関わったスポーツを支える活動を聞いた。(M. A.)

(本文 P90～P93)

- ・「子供のスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援（試合の審判・応援、地域等のスポーツチーム監督・コーチなど）」が6%でトップ
- ・「スポーツ選手・チームの応援（サポーターなど）」と「スポーツ活動などの運営や支援（クラブ、スポーツ団体等の定期的な活動）」5%が続く

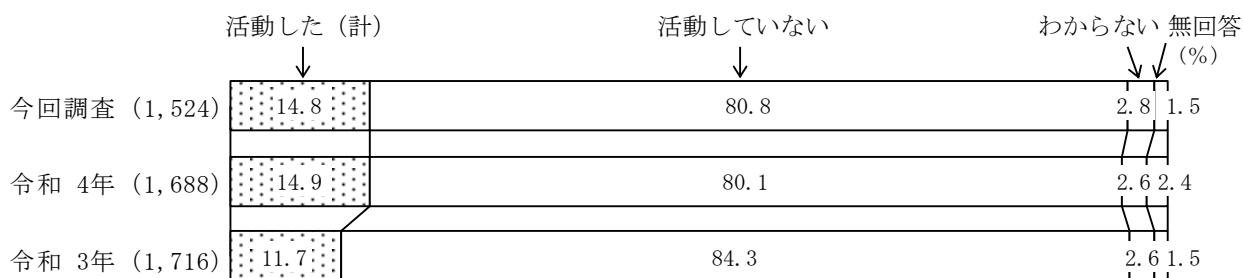


〔 上記選択肢を答えた人を『活動した (計)』とし、
「活動していない」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



[この1年間に関わったスポーツを支える活動の有無]

- ・『活動した (計)』は 15% (令和4年とほぼ同様)
- ・「活動していない」は 80% (令和3年より1ポイント増加)



(注) 『活動した (計)』は「活動していない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(2) スポーツを支える活動を行った日数：

スポーツを支える活動を行ったと答えた人（226人）に、活動を行った日数を聞いた。

（本文P94～P98）

- ・「月に1～3日（年12日～50日）」が24%でトップ（令和4年より6ポイント増加）
- ・「年に1～3日」23%、「3ヶ月に1～2日（年4日～11日）」15%が続く

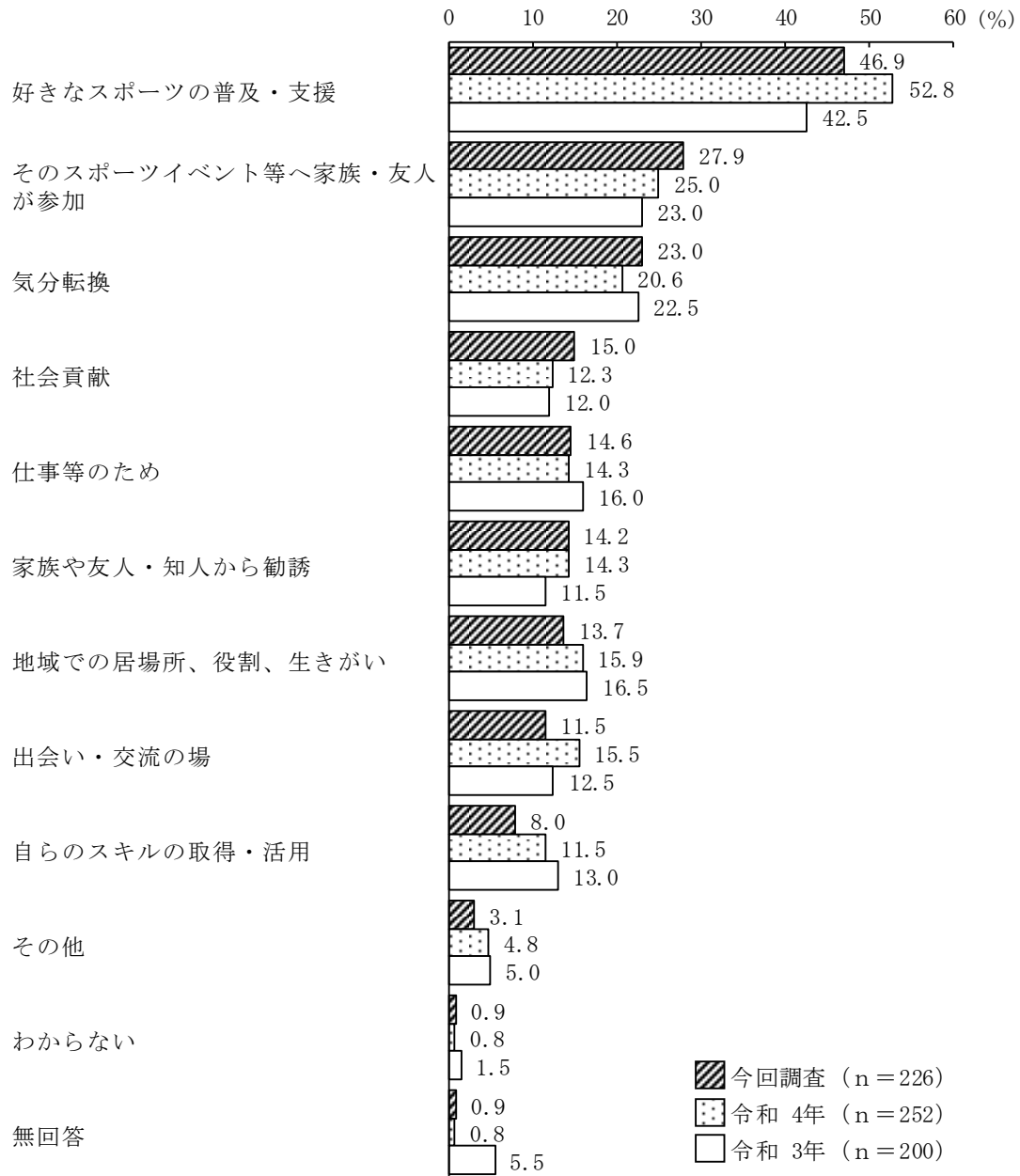
	週5日以上 n (年251日以上)		週3～4日 (年151日～250日)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3ヶ月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	わからない	無回答
今回調査 (226)	6.2	6.2	10.6	12.8	23.5	14.6	22.6	3.1	0.4	
令和4年 (252)	5.6	6.3	12.7	13.5	17.9	14.7	25.4	2.0	2.0	
令和3年 (200)	4.0	8.0	11.5	13.0	17.0	12.5	15.0	2.0	17.0	

(3) スポーツを支える活動を行った理由：

スポーツを支える活動を行ったと答えた人（226人）に、活動を行った理由を聞いた。（M. A.）

（本文P99～P102）

- ・「好きなスポーツの普及・支援」が47%でトップ（令和4年より6ポイント減少）
- ・「そのスポーツイベント等へ家族・友人が参加」28%、「気分転換」23%が続く

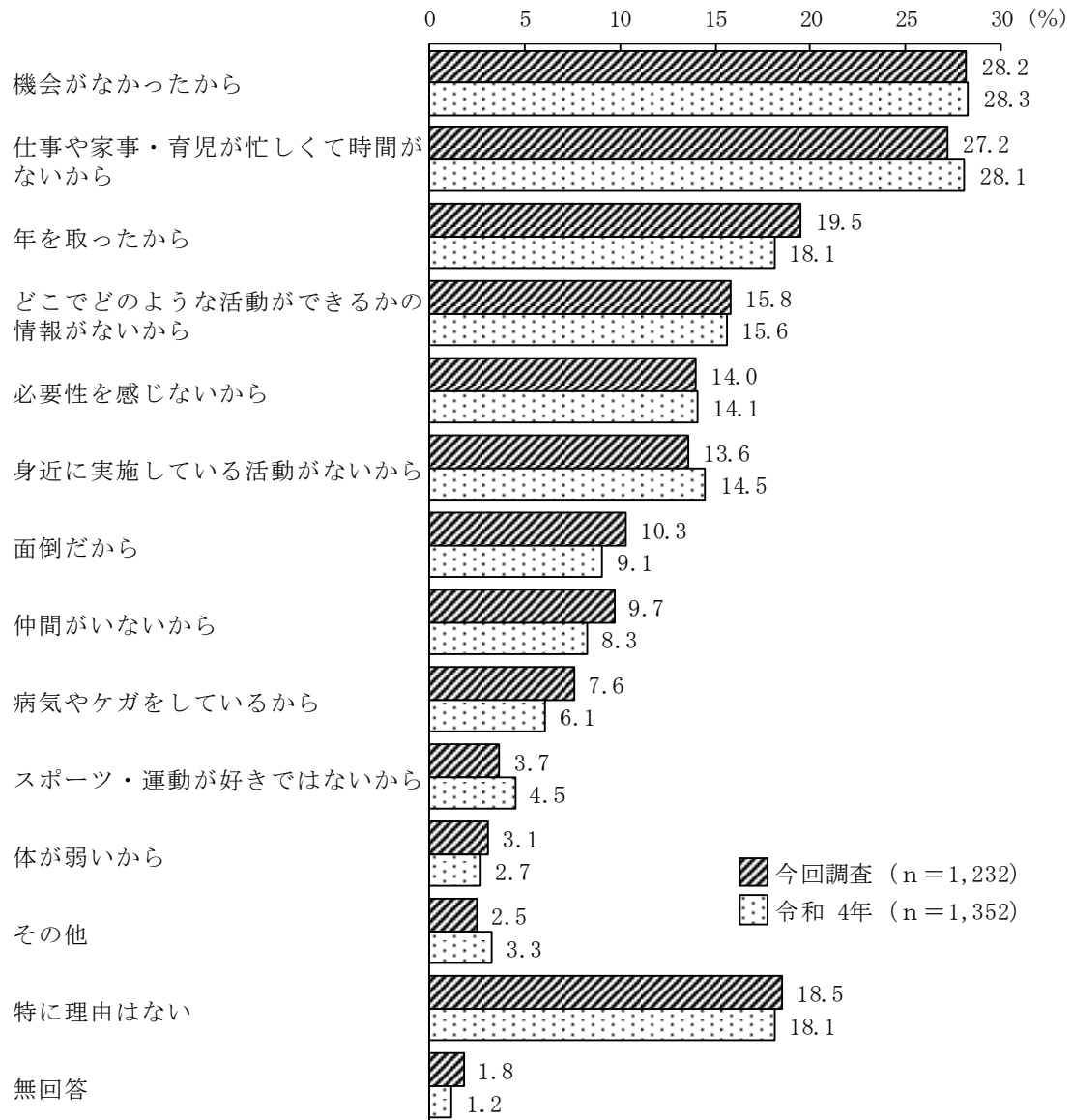


(4) スポーツを支える活動を行わなかった理由：

スポーツを支える活動をしていないと答えた人（1,232人）に、活動を行わなかった理由を聞いた。（M. A.）

（本文 P 103～P 107）

- ・「機会がなかったから」が28%でトップ（令和4年とほぼ同様）
- ・「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」27%、「年を取ったから」20%が続く

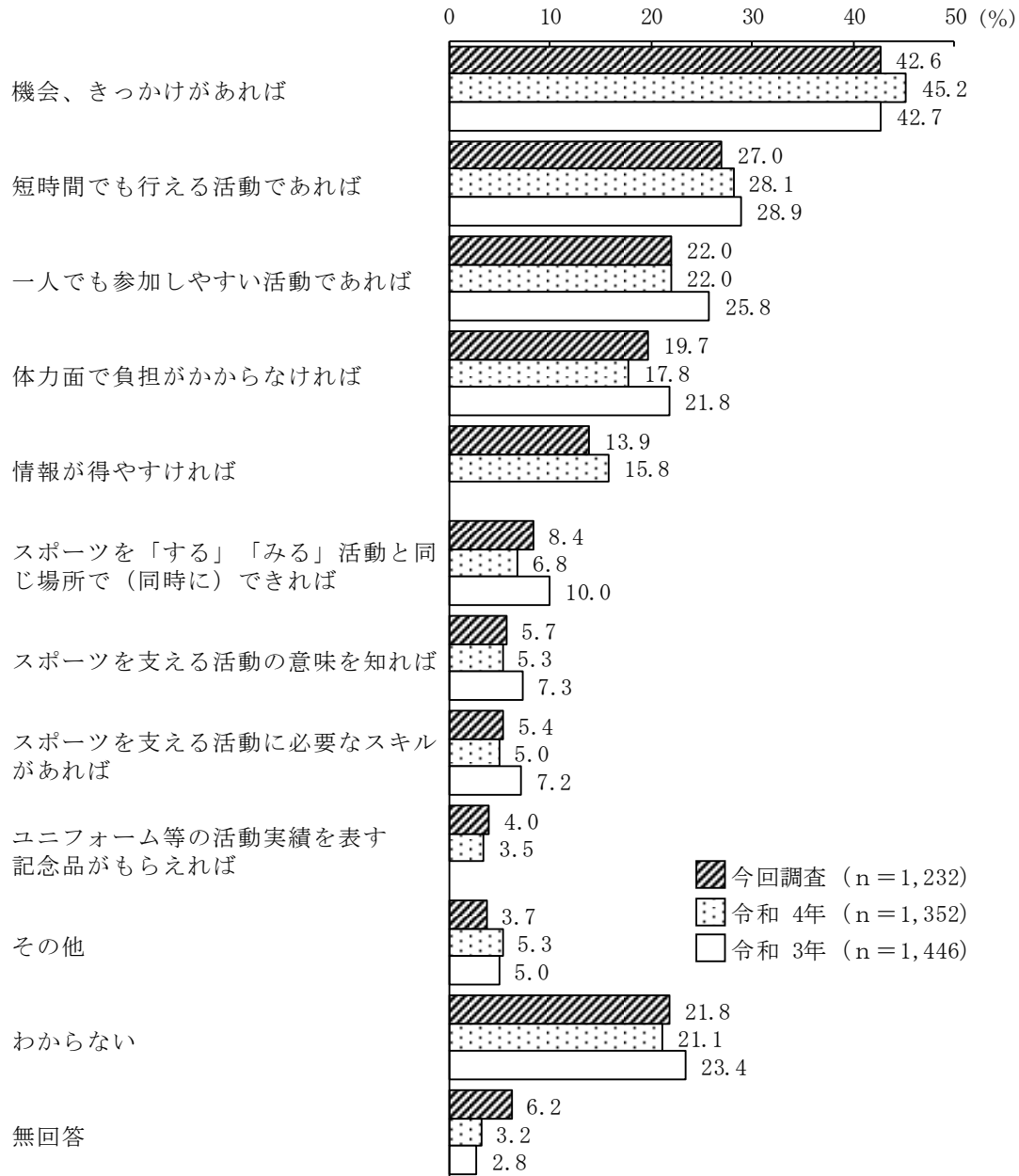


(5) スポーツを支える活動を行える、活動する人を増やせると思う環境：

スポーツを支える活動をしていないと答えた人（1,232人）に、どのような環境を整えば、スポーツを支える活動を行える、また活動する人を増やせると思うか聞いた。（M. A.）

（本文P108～P111）

- ・「機会、きっかけがあれば」が43%でトップ（令和4年より3ポイント減少）
- ・「短時間でも行える活動であれば」27%、「一人でも参加しやすい活動であれば」22%が続く



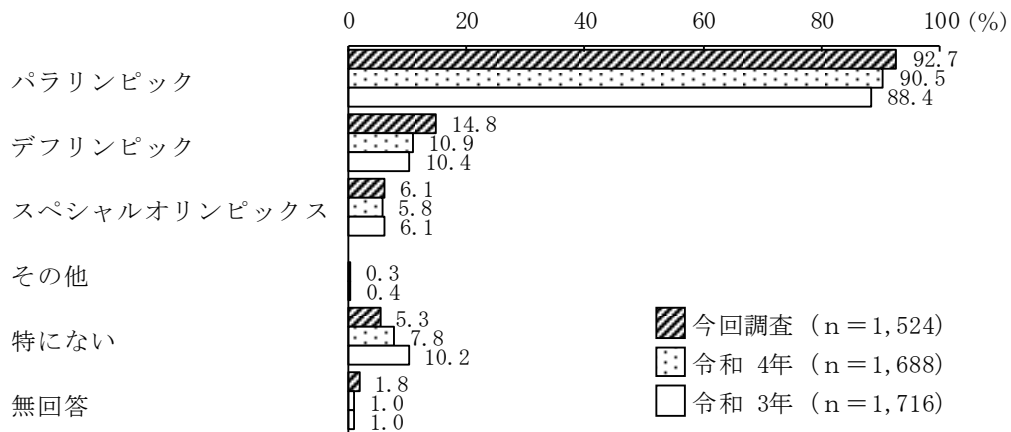
（注）「情報が得やすければ」「ユニフォーム等の活動実績を表す記念品がもらえれば」は令和4年調査から追加

5 パラスポーツ（障害者スポーツ）への関心度等

(1) パラスポーツの国際大会の認知度：パラスポーツの国際大会の認知度を聞いた。(M. A.)

(本文 P 112～P 113)

- ・「パラリンピック」が93%でトップ（令和4年より2ポイント増加）
- ・「デフリンピック」15%、「スペシャルオリンピックス」6%が続く

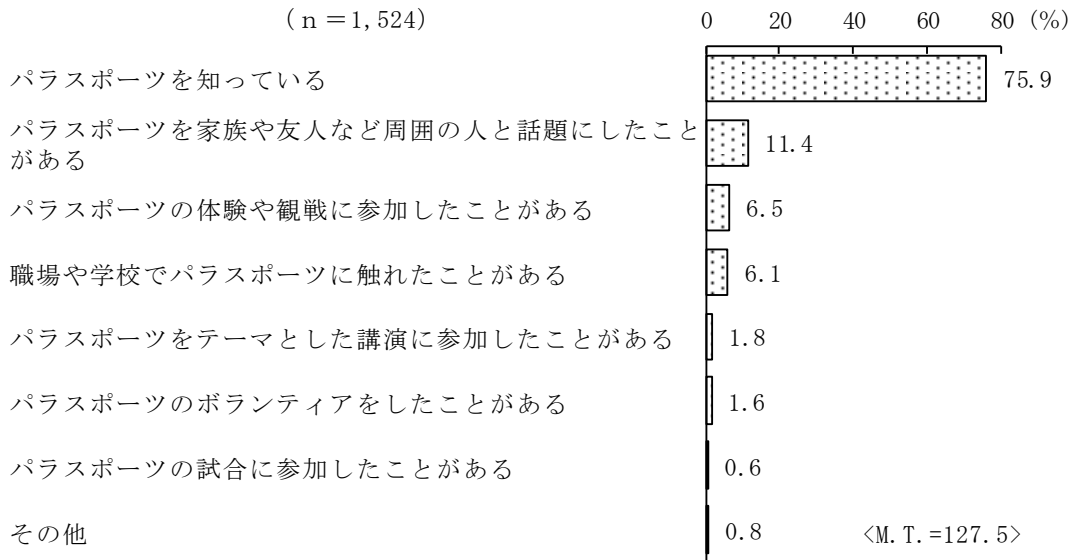


(注) 「その他」は令和4年調査まで

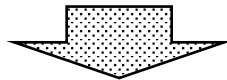
(2) パラスポーツとの関わり：パラスポーツとの関わりについて聞いた。(M. A.)

(本文P114～P116)

- ・「パラスポーツを知っている」が76%でトップ
- ・「パラスポーツを家族や友人など周囲の人と話題にしたことがある」11%、「パラスポーツの体験や観戦に参加したことがある」7%が続く

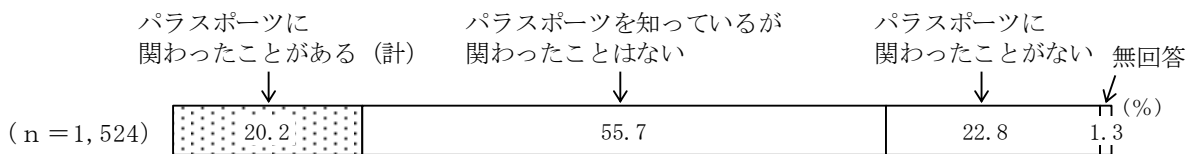


上記選択肢を答えた人のうち、「パラスポーツを知っている」のみ選んだ人以外を『パラスポーツに関わったことがある (計)』、また「パラスポーツを知っている」のみ選んだ人を「パラスポーツを知っているが関わったことはない」とし、「パラスポーツに関わったことがない」と答えた人との比率をみると以下の通り。



[パラスポーツとの関わりの有無]

- ・『パラスポーツに関わったことがある (計)』は20%
- ・「パラスポーツを知っているが関わったことはない」は56%
- ・「パラスポーツに関わったことがない」は23%



(注1) 『パラスポーツに関わったことがある (計)』は「パラスポーツに関わったことがない」以外の選択肢を選んだ人で、「パラスポーツを知っている」のみ選んだ人を除いた割合

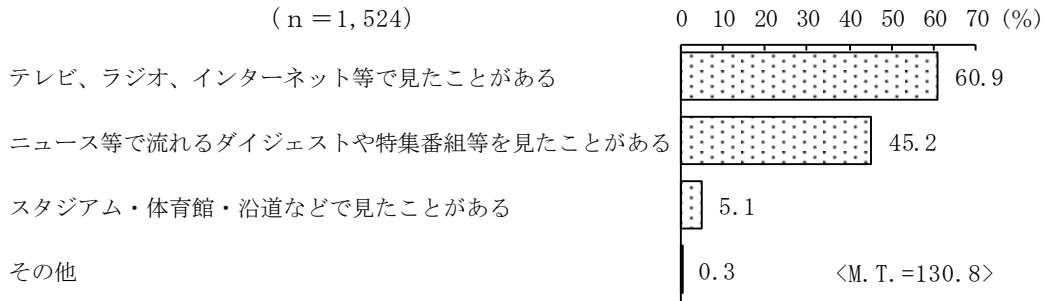
(注2) 「パラスポーツを知っているが関わったことはない」は「パラスポーツを知っている」のみ選んだ人の割合

(3) パラスポーツやパラリンピック競技を見た経験：

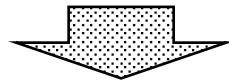
これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を見た経験について聞いた。(M. A.)

(本文P117～P119)

- ・「テレビ、ラジオ、インターネット等で見たことがある」が61%でトップ
- ・「ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等を見たことがある」45%、「スタジアム・体育館・沿道などで見たことがある」5%が続く

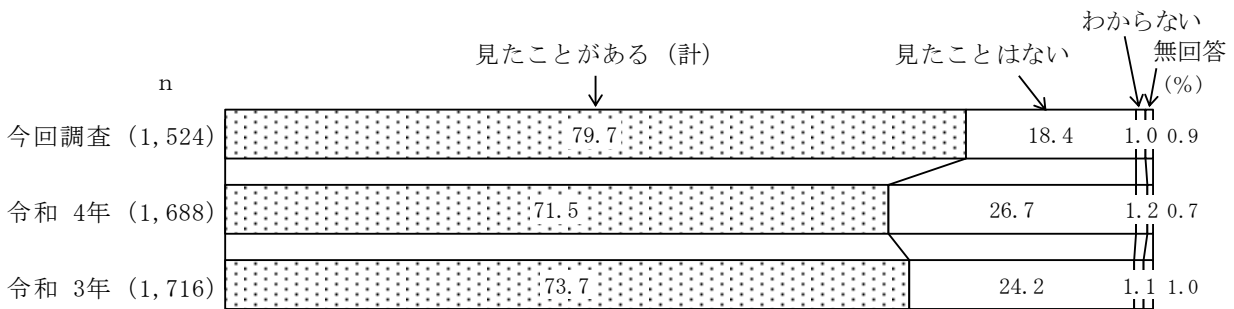


〔 上記選択肢を答えた人を『見たことがある (計)』とし、
「見たことはない」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



〔これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を見た経験の有無〕

- ・『見たことがある (計)』は80% (令和4年より8ポイント増加)
- ・「見たことはない」は18% (令和4年より8ポイント減少)



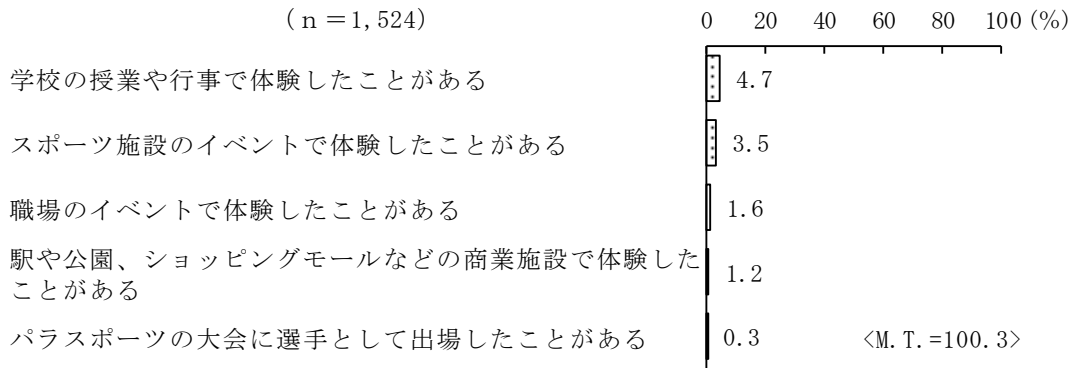
(注) 『見たことがある (計)』は「見たことはない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(4) パラスポーツやパラリンピック競技の体験：

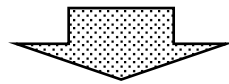
これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を体験したことがあるか聞いた。(M. A.)

(本文P120～P122)

- ・「学校の授業や行事で体験したことがある」が5%でトップ
- ・「スポーツ施設のイベントで体験したことがある」4%、「職場のイベントで体験したことがある」2%が続く

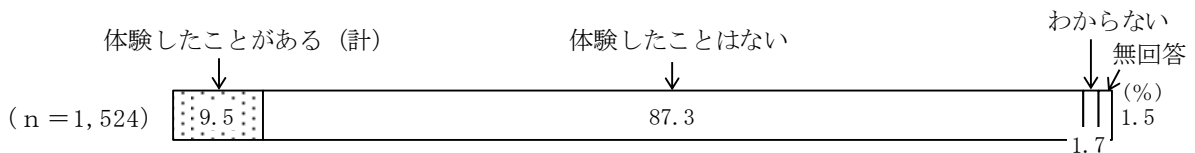


〔 上記選択肢を答えた人を『体験したことがある (計)』とし、
「体験したことはない」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



[パラスポーツやパラリンピック競技の体験の有無]

- ・『体験したことがある (計)』は 10%
- ・「体験したことはない」は 87%



(注) 『体験したことがある (計)』は「体験したことはない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(5) パラスポーツへの関心度：パラスポーツへの関心度を聞いた。

(本文P123～P128)

- ・『関心がある (計)』は44% (令和4年より1ポイント増加)
- ・『関心がない (計)』は45% (令和4年より1ポイント減少)

n	関心度					無回答 (%)	関心がある (計)	関心がない (計)
	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない			
今回調査 (1,524)	11.0	33.3	30.8	14.1	9.8	0.9	44.3	44.9
令和4年 (1,688)	11.4	31.8	32.5	13.2	7.9	3.1	43.2	45.7
令和3年 (1,716)	15.7	37.3	26.3	12.8	6.5	1.3	53.0	39.2

(注) 『関心がある (計)』は「関心がある」「やや関心がある」の合計
 『関心がない (計)』は「関心がない」「あまり関心がない」の合計

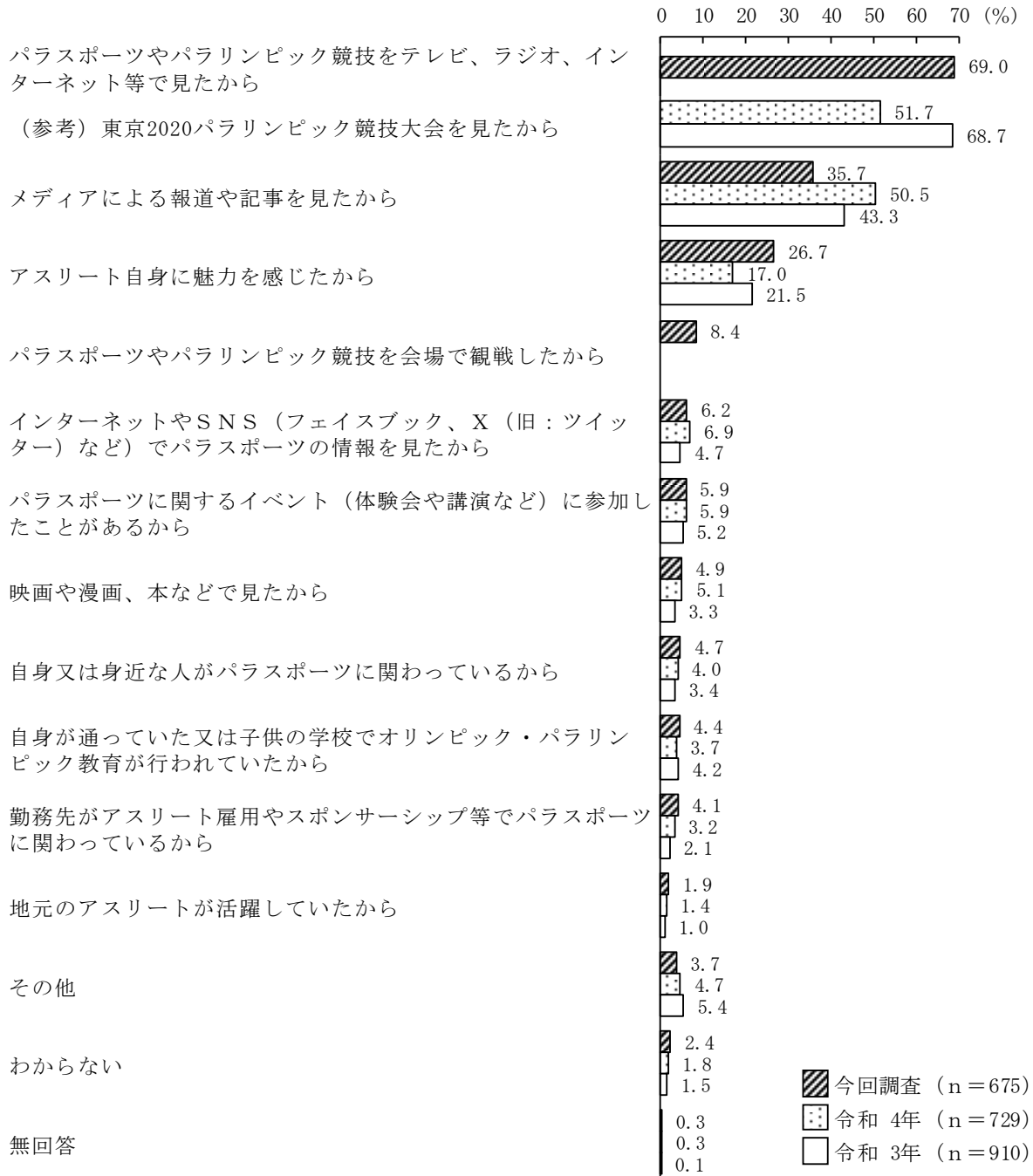
(6) パラスポーツに関心を持ったきっかけ：

パラスポーツに関心があると答えた人（675人）に、パラスポーツに関心を持ったきっかけを聞いた。（M. A.）

（本文P129～P131）

・「パラスポーツやパラリンピック競技をテレビ、ラジオ、インターネット等で見たから」が69%でトップ

・「メディアによる報道や記事を見たから」36%、「アスリート自身に魅力を感じたから」27%が続く



(注1) 「パラスポーツやパラリンピック競技をテレビ、ラジオ、インターネット等で見たから」「パラスポーツやパラリンピック競技を会場で観戦したから」は今回調査から追加

(注2) 東京2020パラリンピック競技大会から2年が経過したため「東京2020パラリンピック競技大会を見たから」は今回調査から削除

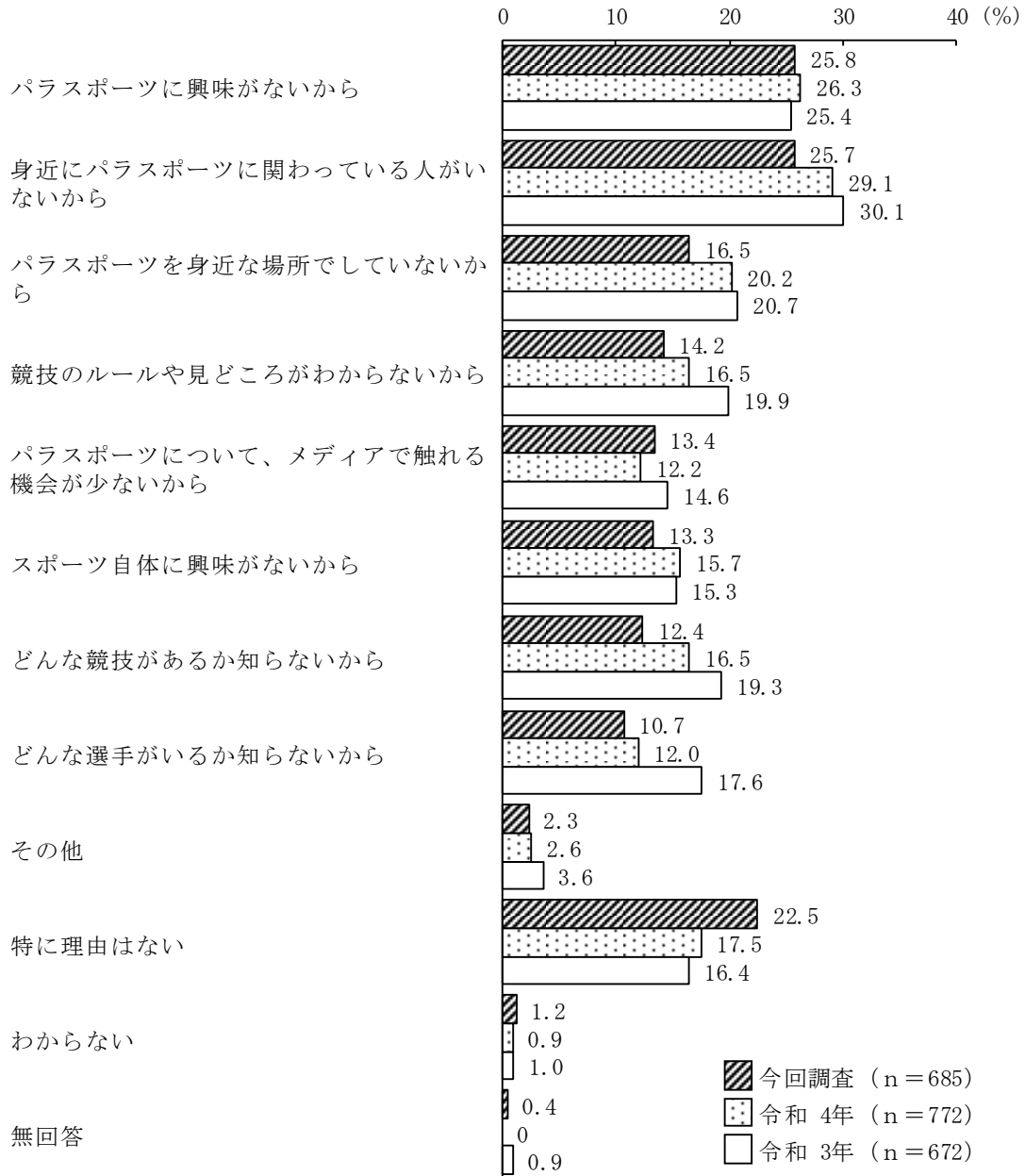
(注3) 「メディアによる報道や記事を見たから」は令和4年までは「テレビやインターネットなど、メディアでの中継・配信・報道を見たから」

(7) パラスポーツに関心がない理由：

パラスポーツに関心がないと答えた人（685人）に、関心がない理由を聞いた。（M. A.）

（本文P132～P134）

- ・「パラスポーツに興味がないから」が26%でトップ（令和4年より1ポイント減少）
- ・「身近にパラスポーツに関わっている人がいないから」26%、「パラスポーツを身近な場所でしていないから」17%が続く

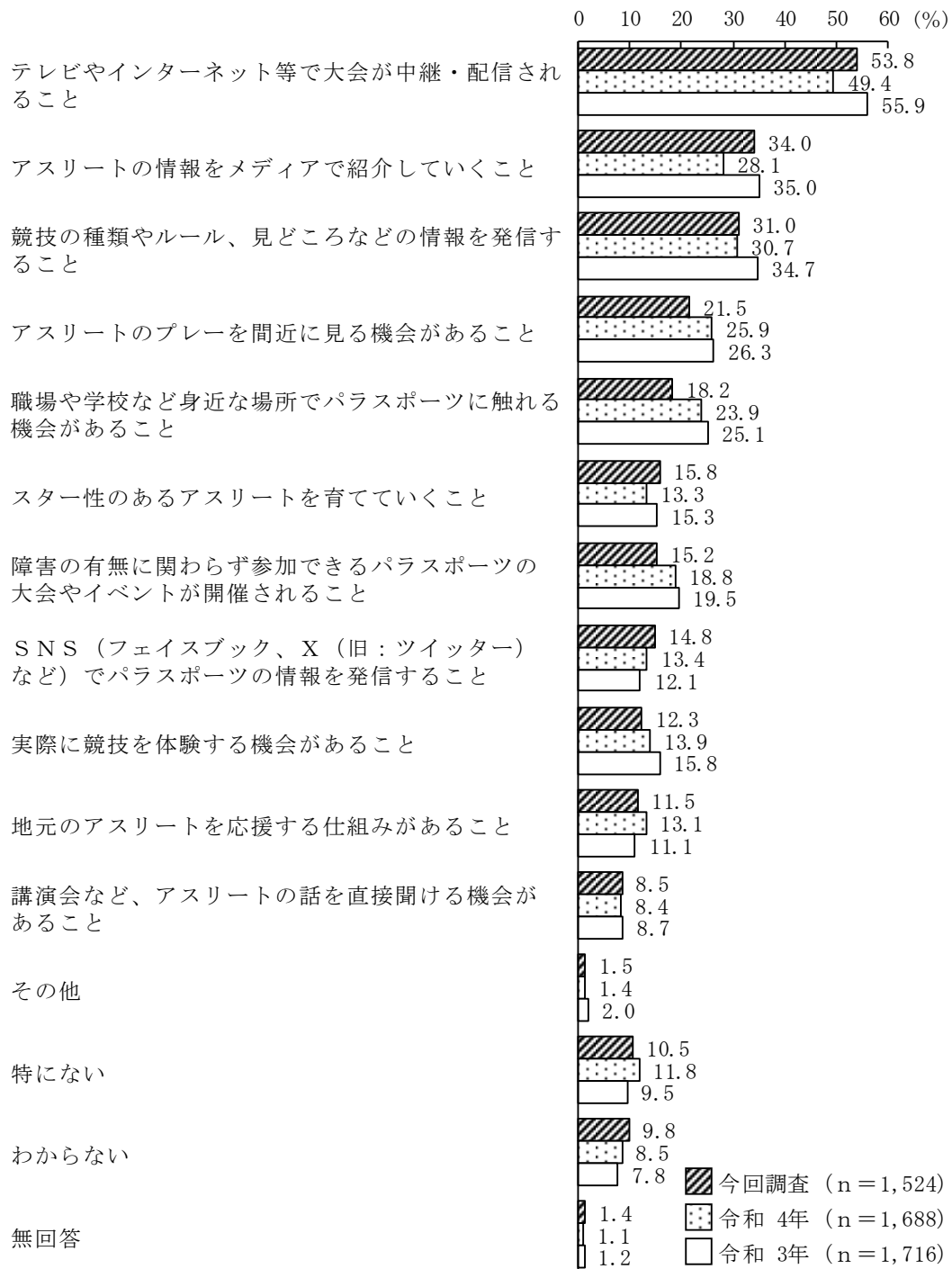


(8) パラスポーツへの関心が高まる取組：

どのような取組があればパラスポーツへの関心が高まると思うか聞いた。(M. A.)

(本文P135～P138)

- ・「テレビやインターネット等で大会が中継・配信されること」が54%でトップ（令和4年より4ポイント増加）
- ・「アスリートの情報をメディアで紹介していくこと」34%、「競技の種類やルール、見どころなどの情報を発信すること」31%が続く



(注)「職場や学校など身近な場所でパラスポーツに触れる機会があること」は令和4年までは「学校や授業でパラスポーツに触れる機会があること」